

会津中央3地域
経営発達支援計画事業
経済動向調査

報告書

平成29年2月



株式会社 福島インフォメーション
会社 リサーチ&マネジメント

目次

1. 調査概要	-----
1-1. 調査の目的	
1-2. 調査実施概要	
1-3. 調査企業一覧	
1-4. 調査対象事業所における所属別及び業種別構成比	
2. 調査結果—全体集計	-----
2-1. 四半期における経営・財務状況	
2-1-1. 四半期における売上高 (問1)	
2-1-2. 四半期における売上単価 (問1)	
2-1-3. 四半期における収益状況 (問1)	
2-1-4. 四半期における資金繰り (問1)	
2-1-5. 四半期における借入の難度 (問1)	
2-1-6. 四半期における雇用人員の状況 (問1)	
2-1-7. 四半期における業況 (問1)	
2-2. 四半期における直面している経営上の問題点 (問2)	
2-3. 四半期における設備投資 (問3)	
2-4. 次の四半期に対する見通し (問4)	
2-5. 景況感、企業経営上の問題点 (問5)	
3. 調査結果—詳細集計	-----
3-1. 四半期における経営・財務状況	
3-1-1. 四半期における売上高	
3-1-2. 四半期における売上単価	
3-1-3. 四半期における収益状況	
3-1-4. 四半期における資金繰り	
3-1-5. 四半期における借入の難度	
3-1-6. 四半期における雇用人員の状況	
3-1-7. 四半期における業況	
3-2. 四半期における直面している経営上の問題点	
3-3. 売上高別経営状況	
3-3-1. 売上高別にみた経営課題	
3-3-2. 売上高「増加」傾向の場合における経営課題	
3-3-3. 売上高「不変」傾向の場合における経営課題	
3-3-4. 売上高「減少」傾向の場合における経営課題	
巻末資料—調査票	-----

1. 調查概要

1. 調査概要

1-1. 調査の目的

本調査は、会津坂下町商工会・あいづ商工会・湯川村商工会の地区内事業者を中心とした経済動向に係る情報を収集・分析・提供することで、地区内事業者の現状の把握と課題を抽出し、各行政・連携機関とともに、小規模事業者の経営改善発達を支援することを目的に実施した。

1-2. 調査実施概要

本調査では、会津坂下町商工会・あいづ商工会・湯川村商工会の会員の中から任意に抽出した対象事業所に、聞き取りアンケートを実施した。

調査対象	会津坂下町商工会・あいづ商工会・湯川村商工会の会員事業所
対象者数	57件
回収数	57件
調査期間	H28年10月1日（土）～ H29年1月31日（金）
調査方法	訪問面接調査（商工会担当者がヒアリングし記入）
調査項目	[合計13問] ① 経営及び財務の状況（8問） ② 経営上の問題点（1問） ③ 設備投資の状況（2問） ④ 業況の見通し（1問） ⑤ 景況感及び企業経営上の問題点等自由記述（1問）

1-3. 調査企業一覧

会津坂下町商工会・あいづ商工会・湯川村商工会の会員の中から任意に抽出した対象事計 57 社は以下の通りである。

①会津坂下町商工会会員事業所における本調査対象事業所一覧（計 20 社）

- ・製造業 4 社
- ・建設業 4 社
- ・小売業 4 社
- ・サービス業 4 社
- ・農業(観光農園含む) 4 社

②あいづ商工会会員事業所における本調査対象事業所一覧（計 20 社）

- ・製造業 4 社
- ・建設業 4 社
- ・小売業 4 社
- ・サービス業 4 社
- ・農業(観光農園含む) 4 社

③湯川村商工会会員事業所における本調査対象事業所一覧（計 20 社）

- ・製造業 1 社
- ・建設業 4 社
- ・小売業 4 社
- ・サービス業 4 社
- ・農業(観光農園含む) 4 社

※景況調査票については、巻末に記載してあります。

農業(観光農園含む)の様式は、【質問 1】については前年同期との比較で記入を依頼する。

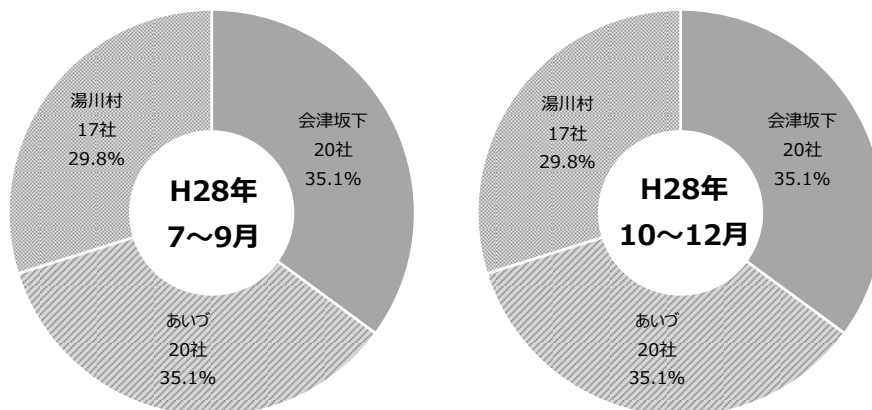
1-4. 調査対象事業所における所属別及び業種別構成比

会津坂下町商工会・あいづ商工会・湯川村商工会の会員の中から任意に抽出した対象事計 57 社における立地別及び業種別構成比は以下の通りである。

1-4-1. 所属別構成比

対象事業所は、「会津坂下町商工会」、「あいづ商工会」、「湯川村商工会」のうち、1か所に所属しており、構成比は以下の通りである。

《所属商工会別にみた構成比》（全体：n=57）（単回答）

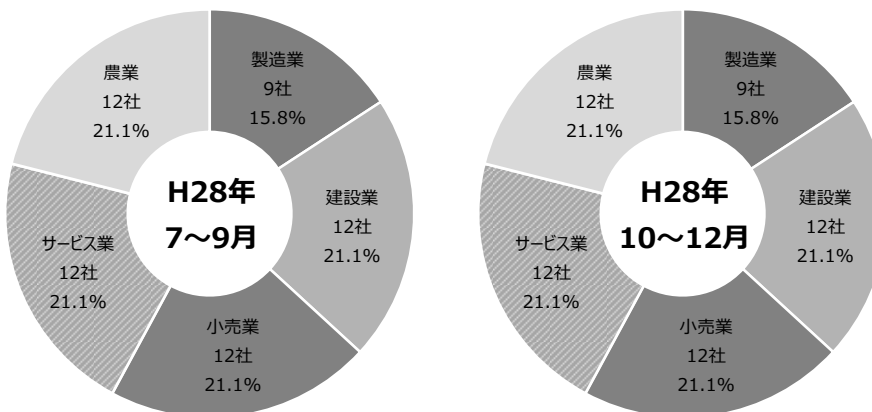


所属分類	H28年7~9月		H28年10~12月	
	回答数	割合	回答数	割合
会津坂下町商工会	20	35.1%	20	35.1%
あいづ商工会	20	35.1%	20	35.1%
湯川村商工会	17	29.8%	17	29.8%
合計	57	100.0%	57	100.0%

1-4-2. 業種別構成比

対象事業所における業種は、「製造業」、「建設業」、「小売業」、「サービス業」、「農業」の5つの分類であり、構成比は以下の通りである。

《業種別にみた構成比》（全体：n=57）（単回答）



業種分類	H28年7~9月		H28年10~12月	
	回答数	割合	回答数	割合
製造業	9	15.8%	9	15.8%
建設業	12	21.1%	12	21.1%
小売業	12	21.1%	12	21.1%
サービス業	12	21.1%	12	21.1%
農業	12	21.1%	12	21.1%
合計	57	100.2%	57	100.2%

2.調査結果-全体集計

2. 調査結果

2-1. 四半期における経営・財務状況

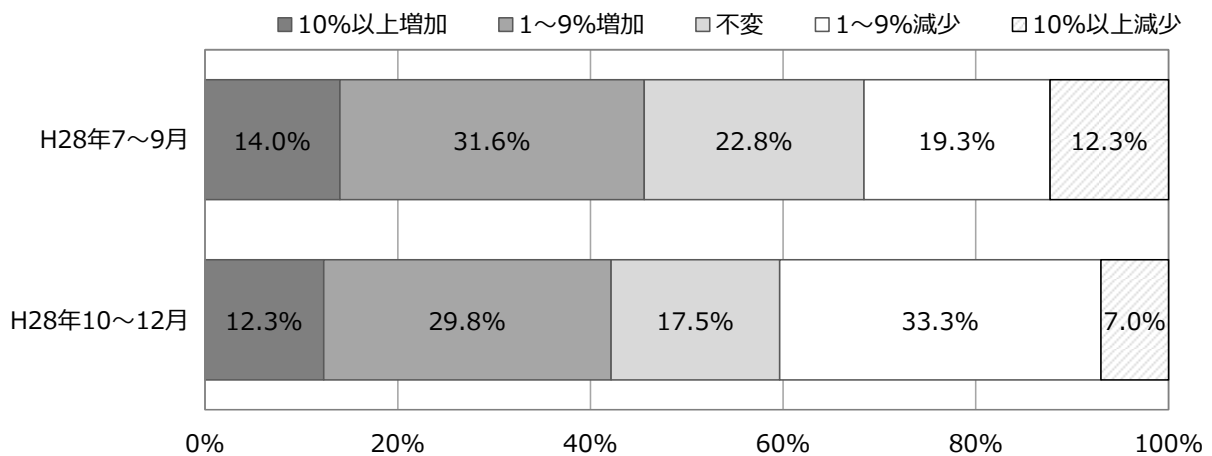
2-1-1. 四半期における売上高

【問1】①四半期の売上高について、該当するものの一つだけ○をつけてください。

○全体傾向

- ・平成28年7～9月期における売上高について、最も多いのは「1～9%増加」が31.62%である。次いで「不変」が22.8%、「1～9%減少」が19.3%、「10%以上増加」が14.0%、「10%以上減少」が12.3%と続く。無回答は0.0%である。
- ・平成28年10～12月期における売上高について、最も多いのは「1～9%減少」が33.3%である。次いで「1～9%増加」が29.8%、「不変」が17.5%、「10%以上増加」が12.3%、「10%以上減少」が7.0%と続く。無回答は0.0%である。
- ・7～9月期と10～12月期を比較すると、前四半期よりも売上は減少傾向であることが分かる。

《四半期の売上高》（全体：n=57）（単回答）



①売上高	H28年7～9月		H28年10～12月	
	回答数	割合	回答数	割合
10%以上増加	8	14.0%	7	12.3%
1～9%増加	18	31.6%	17	29.8%
不変	13	22.8%	10	17.5%
1～9%減少	11	19.3%	19	33.3%
10%以上減少	7	12.3%	4	7.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
合計	57	100.0%	57	99.9%

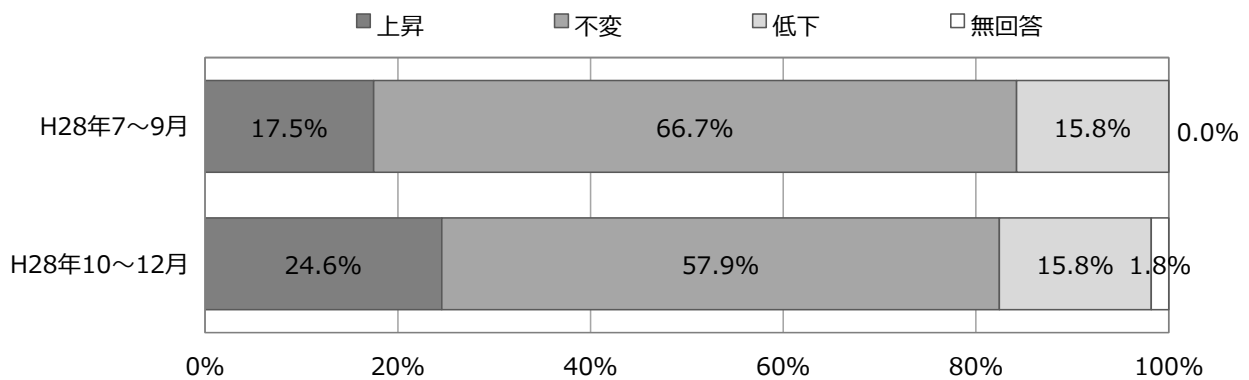
2-1-2. 四半期における売上単価

【問1】②四半期の売上単価について、該当するもの一つだけ○をつけてください。

○全体傾向

- ・平成28年7～9月期における売上単価について、最も多いのは「不変」が66.7%である。次いで「上昇」が17.5%、「低下」が15.8%と続く。
- ・平成28年10～12月期における売上単価について、最も多いのは「不変」57.9%である。次いで「上昇」24.6%「低下」が15.8%と続く。
- ・7～9月期と10～12月期を比較すると、前四半期よりも売上高は減少傾向にあるものの、売上単価は上昇傾向であることが分かる。

《四半期の売上単価》（全体：n=57）（単回答）



②売上単価	H28年7～9月		H28年10～12月	
	回答数	割合	回答数	割合
上昇	10	17.5%	14	24.6%
不変	38	66.7%	33	57.9%
低下	9	15.8%	9	15.8%
無回答	0	0.0%	1	1.8%
合計	57	100.0%	57	100.1%

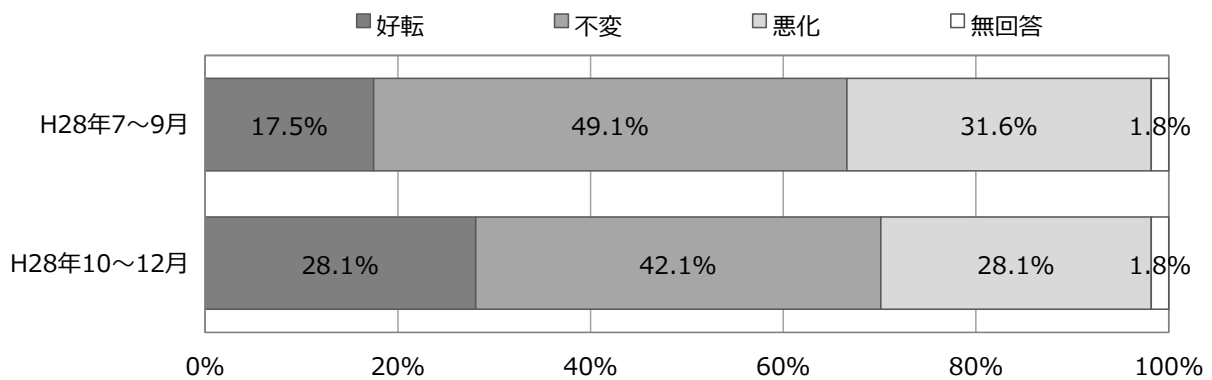
2-1-3. 四半期における収益状況

【問1】③四半期の収益状況について、該当するものに一つだけ○をつけてください。

○全体傾向

- ・平成28年7～9月期における収益状況について、最も多いのは「不変」が49.1%である。次いで「悪化」が31.6%、「好転」が17.5%と続く。
- ・平成28年10～12月期における収益状況について、最も多いのは「不変」が42.1%である。次いで「好転」及び「悪化」が共に28.1%と続く。
- ・7～9月期と10～12月期を比較すると、前四半期よりも収益状況は好転傾向であることが分かる。

《四半期の収益状況》（全体：n=57）（単回答）



③収益状況	H28年7～9月		H28年10～12月	
	回答数	割合	回答数	割合
好転	10	17.5%	16	28.1%
不変	28	49.1%	24	42.1%
悪化	18	31.6%	16	28.1%
無回答	1	1.8%	1	1.8%
合計	57	100.0%	57	100.1%

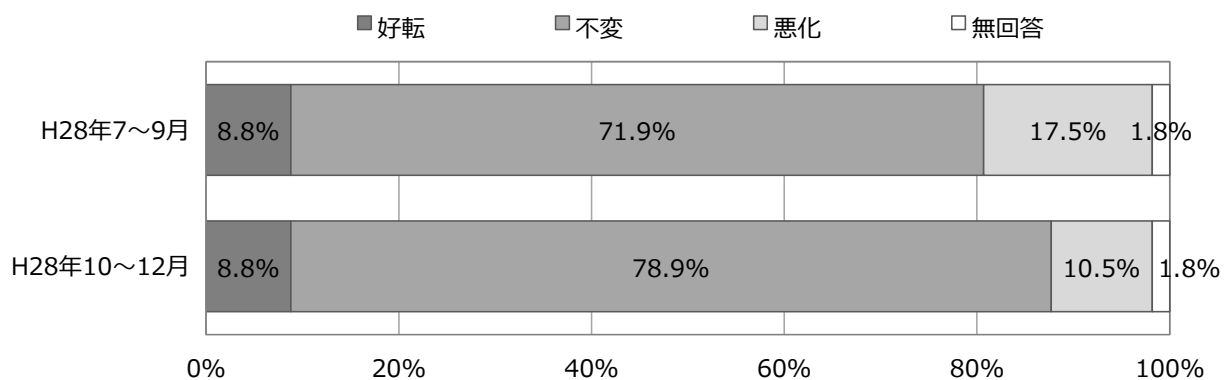
2-1-4. 四半期における資金繰り

【問1】④四半期の資金繰りについて、該当するもの一つだけ○をつけてください。

○全体傾向

- ・平成28年7～9月期における資金繰りについて、最も多いのは「不変」が71.9%である。次いで「悪化」が17.5%、「好転」が8.8%と続く。
- ・平成28年10～12月期における収益状況について、最も多いのは「不変」が78.9%である。次いで「悪化」が10.5%、「好転」が8.8%と続く。
- ・7～9月期と10～12月期を比較すると、前四半期よりも資金繰りは悪化傾向であることが分かる。

《四半期の資金繰り》（全体：n=57）（単回答）



④資金繰り	H28年7～9月		H28年10～12月	
	回答数	割合	回答数	割合
好転	5	8.8%	5	8.8%
不変	41	71.9%	45	78.9%
悪化	10	17.5%	6	10.5%
無回答	1	1.8%	1	1.8%
合計	57	100.0%	57	100.0%

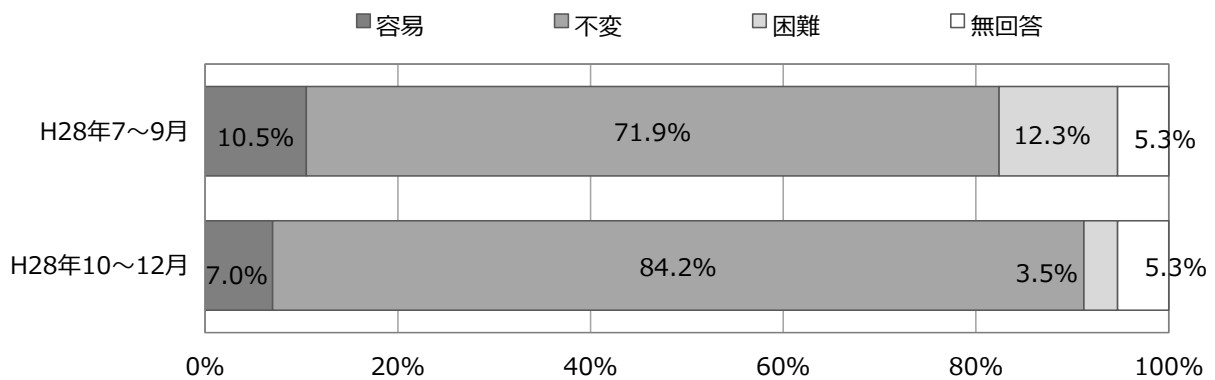
2-1-5. 四半期における借入の難度

【問1】⑤四半期の借入難度について、該当するものに一つだけ○をつけてください。

○全体傾向

- ・平成28年7～9月期における借入難度について、最も多いのは「不変」が71.9%である。次いで「困難」が12.3%、「容易」が10.5%と続く。
- ・平成28年10～12月期における借入難度について、最も多いのは「不変」が84.2%である。次いで「容易」が7.0%、「困難」が3.5%と続く。
- ・7～9月期と10～12月期を比較すると、前四半期よりも借入難度は横ばい傾向であることが分かる。

《四半期の借入難度》（全体：n=57）（単回答）



⑤借入難度	H28年7～9月		H28年10～12月	
	回答数	割合	回答数	割合
容易	6	10.5%	4	7.0%
不変	41	71.9%	48	84.2%
困難	7	12.3%	2	3.5%
無回答	3	5.3%	3	5.3%
合計	57	100.0%	57	100.0%

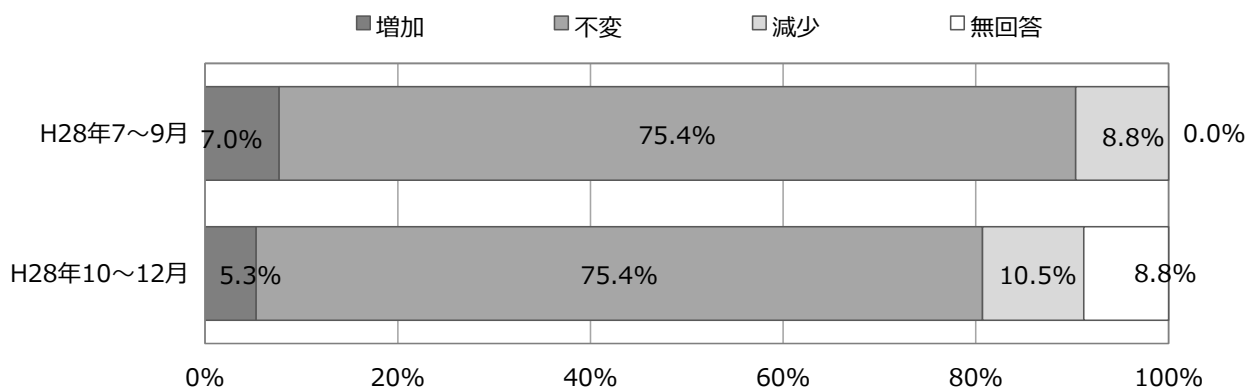
2-1-6. 四半期における雇用人員の状況

【問1】⑥四半期の雇用人員について、該当するものに一つだけ○をつけてください。

○全体傾向

- ・平成28年7～9月期における雇用人員について、最も多いのは「不変」が75.4%である。次いで「減少」が8.8%、「増加」が7.0%と続く。
- ・平成28年10～12月期における雇用人員について、最も多いのは「不変」が75.4%である。次いで「減少」が10.5%、「増加」が5.3%と続く。
- ・7～9月期と10～12月期を比較すると、前四半期よりも雇用人員はやや減少傾向であることが分かる。

《四半期の雇用人員》（全体：n=57）（単回答）



⑥雇用人員	H28年7～9月		H28年10～12月	
	回答数	割合	回答数	割合
増加	5	8.8%	3	5.3%
不変	6	10.5%	43	75.4%
減少	7	12.3%	6	10.5%
無回答	5	8.8%	5	8.8%
合計	23	40.4%	57	100.0%

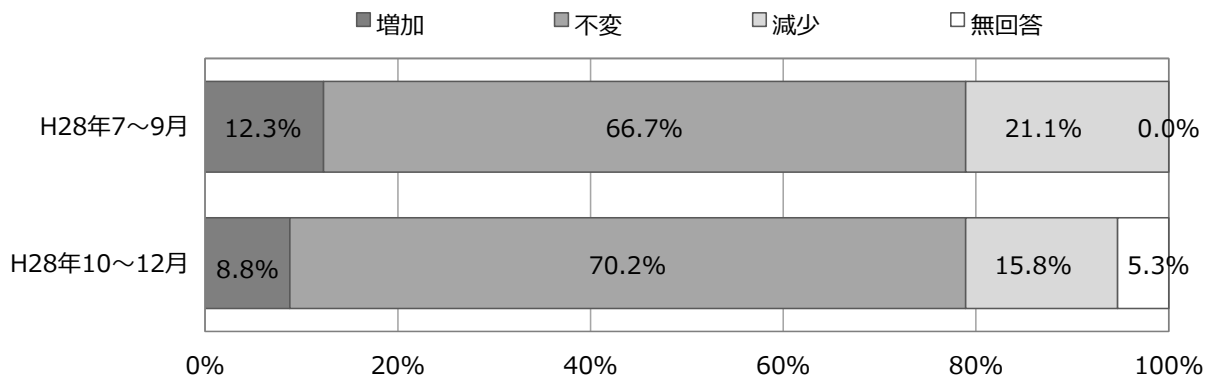
2-1-7. 四半期における業況

【問1】⑦四半期の業況について、該当するものに一つだけ○をつけてください。

○全体傾向

- ・平成28年7～9月期における業況について、最も多いのは「1～9%増加」が31.62%である。次いで「不変」が22.8%、「1～9%減少」が19.3%、「10%以上増加」が14.0%、「10%以上減少」が12.3%と続く。無回答は0.0%である。
- ・平成28年10～12月期における業況について、最も多いのは「1～9%減少」が33.3%である。次いで「1～9%増加」が29.8%、「不変」が17.5%、「10%以上増加」が12.3%、「10%以上減少」が7.0%と続く。無回答は0.0%である。
- ・7～9月期と10～12月期を比較すると、前四半期よりも売上は減少傾向であることが分かる。

《四半期の業況》（全体：n=57）（単回答）



⑦業況	H28年7～9月		H28年10～12月	
	回答数	割合	回答数	割合
増加	7	12.3%	5	8.8%
不変	38	66.7%	40	70.2%
減少	12	21.1%	9	15.8%
無回答	0	0.0%	3	5.3%
合計	57	100.1%	57	100.1%

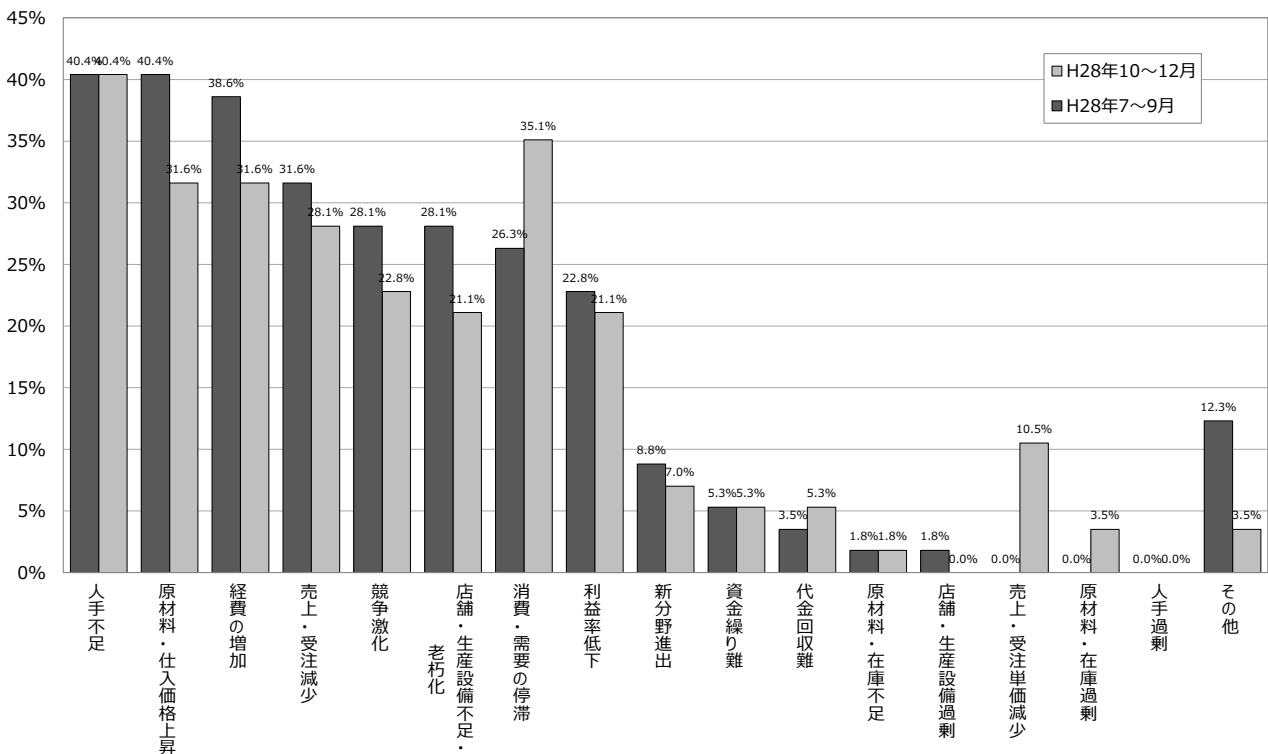
2-2. 四半期における直面している経営上の問題点

【問2】四半期の経営上の問題点について、該当するもの一つだけ○をつけてください。

○全体傾向

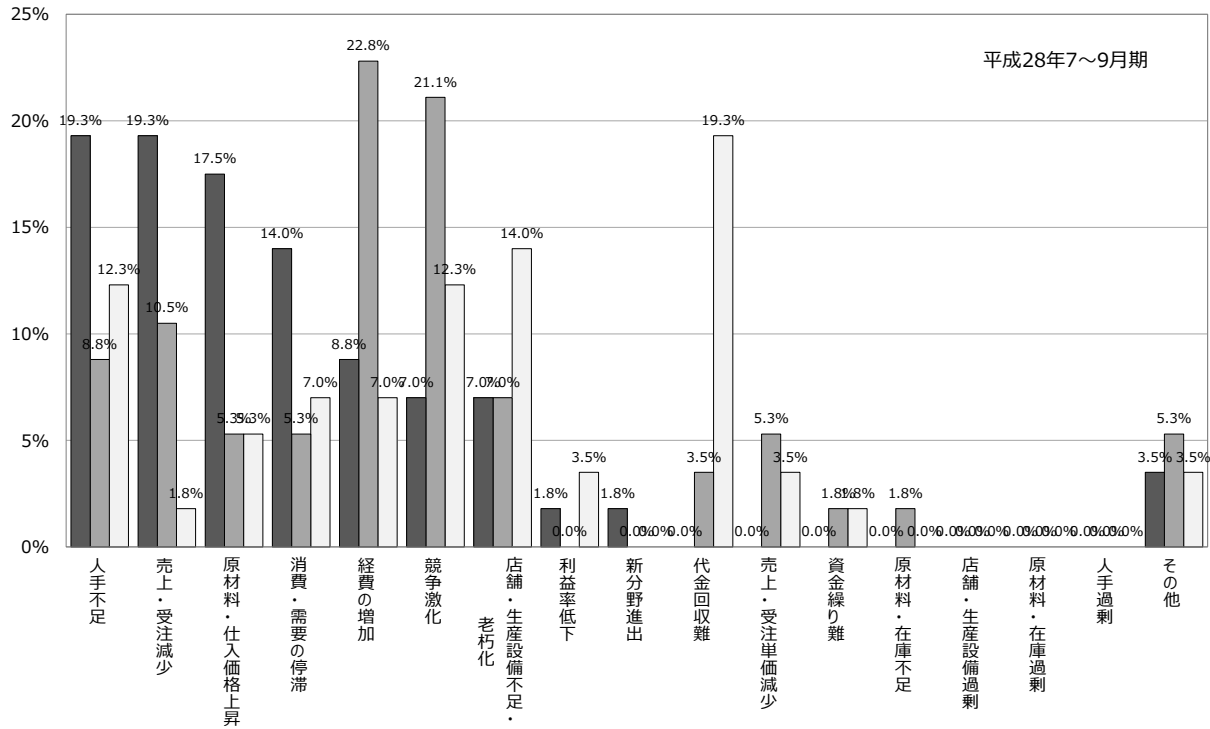
- ・平成28年7～9月期における経営上の問題点について、全17項目の選択肢から、問題だと思うもの1位から3位まで順に選択して頂いた。
- ・1位に最も挙げたのは、「人手不足」と「売上・受注減少」で共に19.3%（11社/57社）を占める。
- ・1位から3位までの合計で、経営上の問題点として最も多く選択されていたのは、「人財不足」と「原材料・仕入価格上昇」で共に40.4%（23社/57社）を占める。
- ・平成28年10～12月期における経営上の問題点について、1位に最も挙げたのは、「人手不足」と「売上・受注減少」で共に17.5%（10社/57社）を占める。
- ・1位から3位までの合計で、経営上の問題点として最も多く選択されていたのは、「人財不足」で40.4%（23社/57社）、次いで「消費・需要の停滞」が35.1%（20社/57社）を占める。
- ・平成28年7～9月期と、10月～12月期における、それぞれ1位から3位までをみると、ばらつきがあり、四半期時期毎に経営上問題点が変化していることが伺える。

《四半期の経営上問題点》（全体：n=57）（上位3つまでの合計）

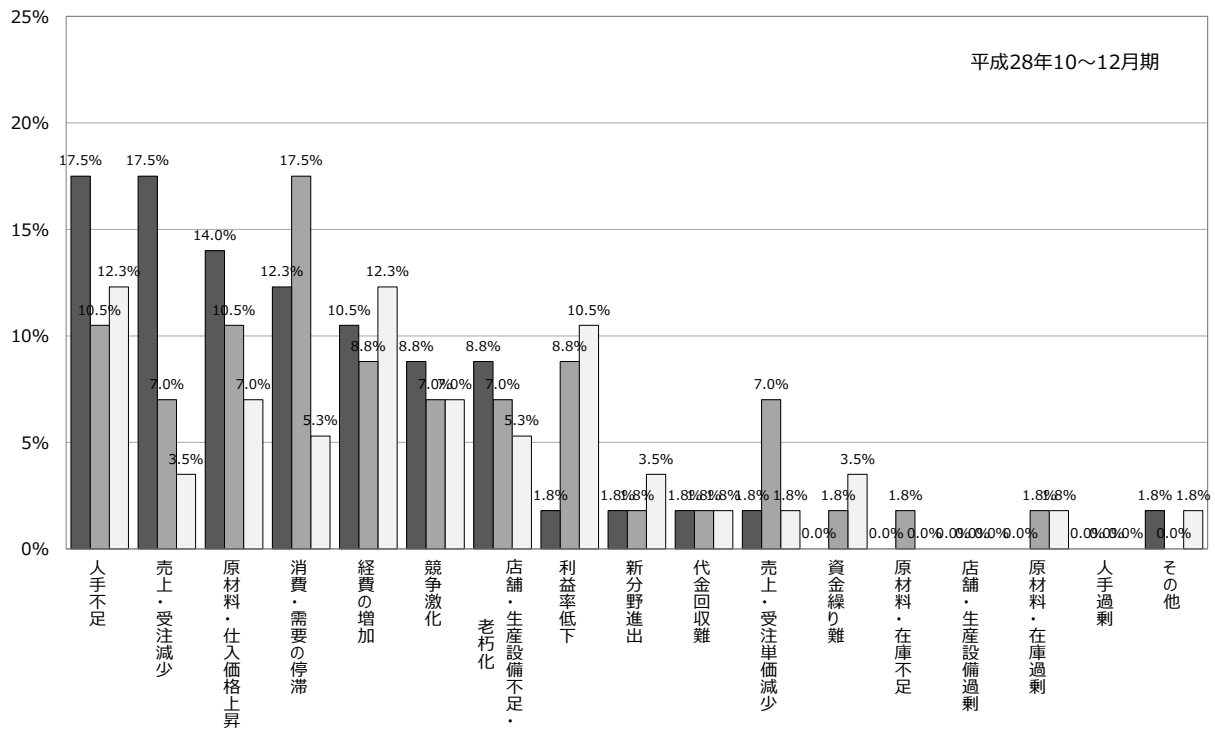


2. 調査結果-全体集計

《四半期（H28.7～9月期）の経営上問題点》（全体：n=57）（上位3つまで）



《四半期（H28.10～12月期）の経営上問題点》（全体：n=57）（上位3つまで）



2. 調査結果-全体集計

経営上の問題点	H28年7～9月									H28年10～12月								
	回答数				割合				回答数				割合					
	1位	2位	3位	計	1位	2位	3位	計	1位	2位	3位	計	1位	2位	3位	計		
1 競争激化	10	3	3	16	17.5%	5.3%	5.3%	28.1%	5	4	4	13	8.8%	7.0%	7.0%	22.8%		
2 消費・需要の停滞	8	3	4	15	14.0%	5.3%	7.0%	26.3%	7	10	3	20	12.3%	17.5%	5.3%	35.1%		
3 売上・受注減少	11	6	1	18	19.3%	10.5%	1.8%	31.6%	10	4	2	16	17.5%	7.0%	3.5%	28.1%		
4 売上・受注単価減少	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1	4	1	6	1.8%	7.0%	1.8%	10.5%		
5 原材料・仕入価格上昇	4	12	7	23	7.0%	21.1%	12.3%	40.4%	8	6	4	18	14.0%	10.5%	7.0%	31.6%		
6 原材料・在庫不足	0	1	0	1	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%	0	1	0	1	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%		
7 原材料・在庫過剰	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	1	1	2	0.0%	1.8%	1.8%	3.5%		
8 店舗・生産設備不足・老朽化	4	4	8	16	7.0%	7.0%	14.0%	28.1%	5	4	3	12	8.8%	7.0%	5.3%	21.1%		
9 店舗・生産設備過剰	1	0	0	1	1.8%	0.0%	0.0%	1.8%	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
10 経費の増加	5	13	4	22	8.8%	22.8%	7.0%	38.6%	6	5	7	18	10.5%	8.8%	12.3%	31.6%		
11 人手不足	11	5	7	23	19.3%	8.8%	12.3%	40.4%	10	6	7	23	17.5%	10.5%	12.3%	40.4%		
12 人手過剰	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
13 利益率低下	0	2	11	13	0.0%	3.5%	19.3%	22.8%	1	5	6	12	1.8%	8.8%	10.5%	21.1%		
14 代金回収難	0	1	1	2	0.0%	1.8%	1.8%	3.5%	1	1	1	3	1.8%	1.8%	1.8%	5.3%		
15 資金繰り難	1	0	2	3	1.8%	0.0%	3.5%	5.3%	0	1	2	3	0.0%	1.8%	3.5%	5.3%		
16 新分野進出	0	3	2	5	0.0%	5.3%	3.5%	8.8%	1	1	2	4	1.8%	1.8%	3.5%	7.0%		
17 その他	2	3	2	7	3.5%	5.3%	3.5%	12.3%	1	0	1	2	1.8%	0.0%	1.8%	3.5%		
18 無回答	0	1	5	-	0.0%	1.8%	8.8%	-	1	4	13	-	1.8%	7.0%	22.8%	-		
合計	57	56	52	165	-	-	-	-	56	53	44	153	-	-	-	-		

《 四半期の経営上問題点 その他問題点 》

現在の経営課題 (H28年7～9月)	
1	閑散期対策 (建設業・湯川)
2	旧商品の価格改定 (製造業・湯川)
3	施設設備不足 (製造業・あいづ)
4	反収の減少、不安定 (農業・坂下)
5	天候による作物の不作 (農業・あいづ)
6	風評 (製造業・坂下)
現在の経営課題 (H28年10～12月)	
1	9月からの悪天候 (農業・あいづ)
2	米価が上がらない (農業・あいづ)

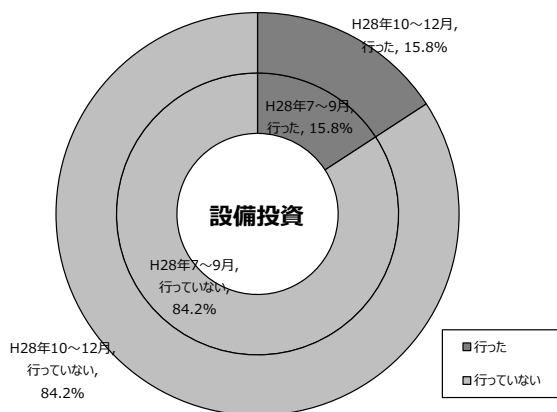
2-3. 四半期における設備投資

【問3】①四半期における設備投資の有無について、該当するものに一つだけ○をつけてください。

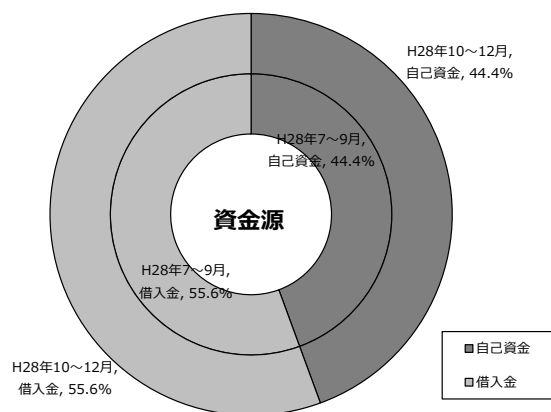
○全体傾向

- ・平成28年7～9月期における設備投資について、「設備投資を行った」のは15.8%（9社/57社）であるのに対し、「設備投資を行っていない」としたのは84.2%（48社/57社）である。また設備投資を行った9社のうち、設備投資の資金源として「自己資本」を用いたのは44.4%、「借入金」は55.6%である。
- ・平成28年10～12月期における設備投資について、「設備投資を行った」のは15.8%（9社/57社）であるのに対し、「設備投資を行っていない」としたのは84.2%（48社/57社）である。また設備投資を行った9社のうち、設備投資の資金源として「自己資本」を用いたのは44.4%、「借入金」は55.6%である。
- ・7～9月期と10～12月期を比較すると、全く同数の結果となった。

《四半期の設備投資の有無》
(全体：n=57) (単回答)



《四半期の設備投資の有無》
(全体：n=57) (複数回答)



設備投資	H28年7～9月		H28年10～12月		設備投資	H28年7～9月		H28年10～12月	
	回答数	割合	回答数	割合		回答数	割合	回答数	割合
行った	9	15.8%	9	15.8%	自己資本	4	44.4%	4	44.4%
行っていない	48	84.2%	48	84.2%	借入金	5	55.6%	5	55.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	無回答	0	0.0%	1	11.1%
合計	57	100.0%	57	100.0%	合計	9	100.0%	10	111.1%

2. 調査結果-全体集計

《設備投資の内容》

設備投資内容 (H28年7~9月)	
1	4トンダンプ車 620万円 (建設業・坂下)
2	ダンプ車 (サービス業・湯川)
3	軽自動車 148万円 (建設業・坂下)
4	トラクター 700万円 (農業・坂下)
5	バックホウ 400万円 (建設業・あいづ)
6	草刈り機、社有車、他 50万円 (建設業・湯川)
7	コンプレッサー、充填機 600万円 (製造業・坂下)
8	あぜぬり機、草刈り機、もみすり 160万円 (農業・湯川)
9	エアコン、水回り 20万円 (サービス業・湯川)
設備投資内容 (H28年10~12月)	
1	2トンダンプ車 300万円 (サービス業・湯川)
2	営業用車両 350万円 (建設業・坂下)
3	工作機械 5,000万円 (製造業・あいづ)
4	倉庫、作業所購入 1000万円 (小売業・湯川)
5	ボイラー入替、ヨーグルト充填機 1000万円 (製造業・坂下)
6	チェーンソー 13万円 (建設業・湯川)
7	投資内容不明 28万円 (サービス業・あいづ)
8	投資内容不明 500万円 (農業・あいづ)

2-4. 次の四半期に対する見通し

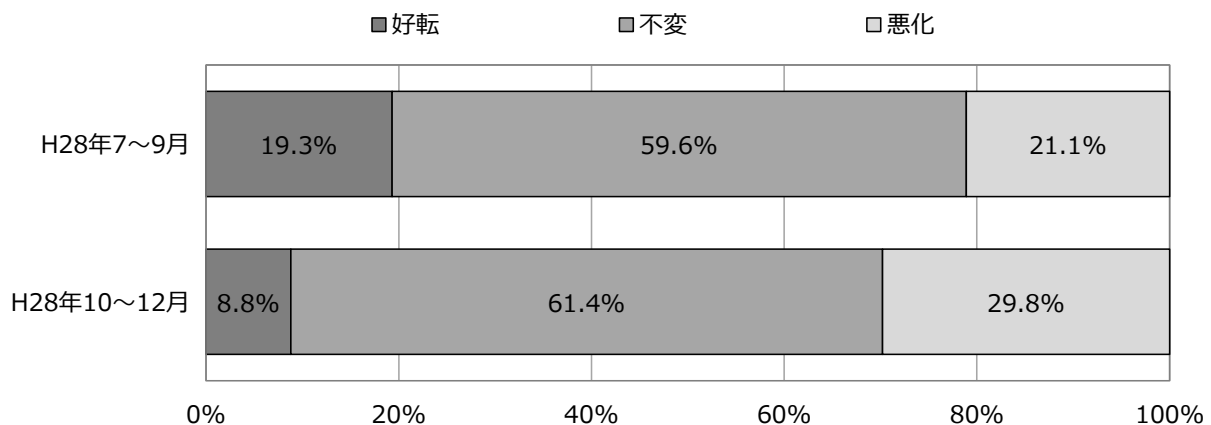
【問3】 次の四半期における見通しについて、該当するもの一つだけ○をつけてください。

○全体傾向

- ・平成28年7～9月期における見通しについて、最も多いのは「不変」が59.6%、次いで「悪化」が21.1%、「好転」が19.3%である。
- ・平成28年10～12月期における見通しについて、最も多いのは「不変」が61.4%、次いで「悪化」が29.8%、「好転」が8.8%である。
- ・7～9月期と10～12月期を比較すると、前四半期よりも先行き見通しが悪化傾向であることが分かる。

《次の四半期の見通し》

(全体：n=57) (単回答)



次四半期見通し	H28年7～9月		H28年10～12月	
	回答数	割合	回答数	割合
好転	11	19.3%	5	8.8%
不変	34	59.6%	35	61.4%
悪化	12	21.1%	17	29.8%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
合計	57	100.0%	57	100.0%

2-5. 景況感、企業経営上の問題点

【問5】景況感や企業経営上の問題点等、ご自由にご意見をお書きください。

その他ご意見 (H28年7~9月)	
1	風評は感じない (農業・坂下)
2	農産物、海産物の大幅な上昇、さらに人件費等の高額化により、会社の経営は苦しくなっています。さらに介護にかける費用は老人をかかえる家庭に大きな負担となっていると思います、よって不景気感が強く感じられます。 (小売業・坂下)
3	農業の場合、天候によって作物の生育が左右されるため、収入が安定していないところがある (農業・あいづ)
4	冬の除雪対策(店舗教室の前)をして欲しい。各会員の店舗前を除雪車で除雪をお願いしたいです、冬、開店休業状態にならないためにも、支援をお願いします (サービス業・湯川)
5	町の中に若い人の働く企業がない。消費人口を多くしてほしい。 (小売業・坂下)
6	設備投資はしたいものの資金に余裕がないため厳しい、5月が多忙になるため臨時雇用を必要とするが確保が困難、今年はずまくいった。 (小売業・湯川)
7	製造の会社(国内全般)が減少していて、業務内容が多様化してきているので対応が大変 (製造業・湯川)
8	人口減少に伴いお客様が減っているので、車検整備等以外においても何か考えていかなければならない (サービス業・坂下)
9	商品のブランド化で売上単価が上がってきているが、消費が落ち込んでいくことが想定されるため、他分野事業へチャレンジすることが重要であると考え (農業・湯川)
10	受注量、生産能力、人員のバランスが不安定 (小売業・湯川)
11	受注しても人手不足(職人不足)のため、工事がうまくまわらない (建設業・湯川)
12	資材等の高騰にもかかわらず価格に転嫁できていない (農業・あいづ)
13	仕事が集中してしまうことが多く、パートさんが少なくて困っている。設備が老朽化してきて順番に調子が悪くなっていく。原材料があがっているが内容をあまり落とすたくないため利益があまり出ていないような気がする。 (サービス業・あいづ)
14	今年度については、多くの農産物(米をはじめ)で需給バランスがとれ単価に安定感あり。しかしTPP問題をはじめとして低価格化への圧力が増大するとの懸念あり。 (農業・あいづ)
15	今年度、全体で見ると、月別の前年比は減少であり、決して満足のいく数字が取れない。自社の努力のみならず支援等を頂きながら運営していきたい (サービス業・坂下)
16	今年5月後半に個人事業を開業しましたが自己資金以外の開業資金が多額のため、とても大変でしたが、徐々に緩和されましたが、まだまだ大変状況ではあります。今後も機器(チェーンソー、草刈り機、トラック)等の購入が必要な状況です (建設業・湯川)
17	今後の受注の見通し(3~4年後) (建設業・あいづ)
18	工場は市からの借用物であり、設備の充実を図りたくてもできない環境に苦慮している (製造業・あいづ)
19	公共工事が県内減ってきている、中通浜通り中心で会津は減少してきている (建設業・坂下)
20	原発事故による東京電力からの賠償金の問題、国の農業者個別所得補償制度の廃止、TPP問題で農産物の価格がどうなるのか、農協改革 (農業・坂下)
21	経費を少なくすること、社員を少なくし、パートアルバイトで。 (農業・湯川)
22	景況感は横ばい、問題点について、販路開拓、人手不足による効率低下 (農業・湯川)
23	景気低迷のうえ客単価の減少 (サービス業・あいづ)
24	客単価の低下 (小売業・坂下)
25	客層(女性の増加)が変化する中で、売上単価の低下に伴い、売上高が減少している。消費税の売上単価に転嫁することが困難で企業負担になっている。設備などの老朽化に伴う更新や改装が困難になってきている。 (サービス業・坂下)
26	技能継承の為に若手社員雇用や人材育成への余裕がない (製造業・あいづ)
27	閑散期(1月2月)の雇用対策、技術者職人の育成 (建設業・湯川)
28	下水加入により件数減少し売上低下 (サービス業・湯川)
29	円安、原料、油の値段の上昇 (製造業・坂下)
30	ここ数年、東京での商談会に参加しており、その成果がやっと現れてきた感がある (農業・あいづ)
31	8月下旬~10月上旬にかけて今までにないような不況感があつた。原材料(バター、マーガリン、砂糖、小豆)は値上がり続けている (小売業・あいづ)

2. 調査結果-全体集計

その他ご意見（H28年10～12月）	
1	林業機器の購入、車の購入等、まだまだ不足ですが、事業初めて1年未満のため、資金額が安定していないので購入まで至りません。（建設業・湯川）
2	野菜は気象条件に大きく左右されるため、安定生産と安定供給の維持が売上の向上につながる（農業・湯川）
3	米の単価が安いのが数年続いていることと、前期のさくらんぼの収入減が現在の経営に影響している（農業・あいづ）
4	弊社の場合、個人の安定客が多いので、売り上げはあまり変動が少ない。公共事業等の大型物件の受注は地域性もあり、継続的な受注は望めない、高齢化による個人宅の管理は増加すると思う（建設業・湯川）
5	売上が伸びない、店舗設備が老朽化してきている、店舗拡張したいが資金繰りの見通しが立たない（サービス業・坂下）
6	農業、天候によって収益が左右される、春の好天、9月の悪天候。（農業・あいづ）
7	納期の急な繰り上げによる残業の増加（製造業・湯川）
8	天候の影響が大きいため先が読めないところが難点（農業・坂下）
9	低迷、単価低下につき、ガソリン電気高により利幅が薄い（製造業・あいづ）
10	設備、特に2トン車等の車両が、震災後、中古、新古等が出数が少なく、購入しづらい。新車等は購入費が高くなる（サービス業・湯川）
11	生産増の人手不足（製造業・坂下）
12	人手不足ではあるが、人を雇用する資金は不足（サービス業・あいづ）
13	消費が停滞している、原因景気が悪い。（小売業・坂下）
14	就業時間（354日24時間体制）（サービス業・坂下）
15	受注と生産力のバランス、特に専門技術の伝授、人員養成。（小売業・湯川）
16	今まで正規雇用5名していたが、年間の経費額を考えるととても厳しく思い切って1人を残して人員を整理したが、農業の仕事は季節的なものがあるため、その都度、都合よい人を見つけることが難しい状況にある。そのため、その時に対応できる人員確保ができるのかが悩みである。（農業・湯川）
17	国の政策、基準改正により、手間経費等の増加により事業が圧迫している（製造業・坂下）
18	公共工事の発注件数が会津全体で減少してきている（建設業・坂下）
19	公共、一般共に、件数の減少（建設業・坂下）
20	雇用の維持と若手人材育成に対する余裕がない（製造業・あいづ）
21	原油価格の高騰による原材料仕入れ価格の上昇が非常に大きい（紙パック、ビン、ポリフィルム等）（製造業・坂下）
22	景気は悪化しているように感じる（農業・湯川）
23	客数の減少により、前年度比90%規模の売り上げ減少。対策として顧客管理の見直し、及びメニューの改革を行っていく予定である（サービス業・坂下）
24	河東町の景気低下（小売業・あいづ）
25	スタッフ確保に困っている（サービス業・坂下）

3.調查結果-詳細集計

3. 調査結果 詳細集計

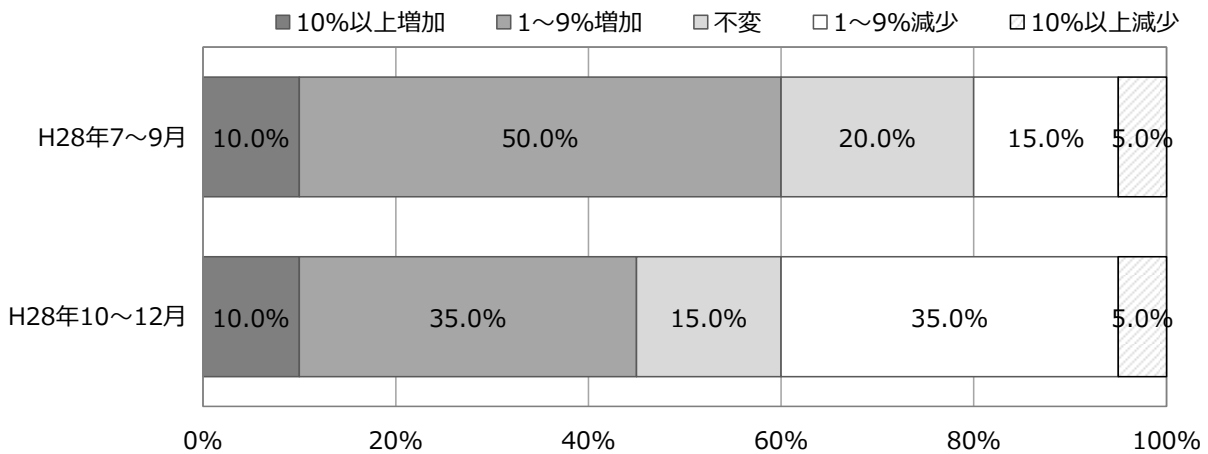
3-1. 四半期における経営・財務状況

3-1-1. 四半期における売上高

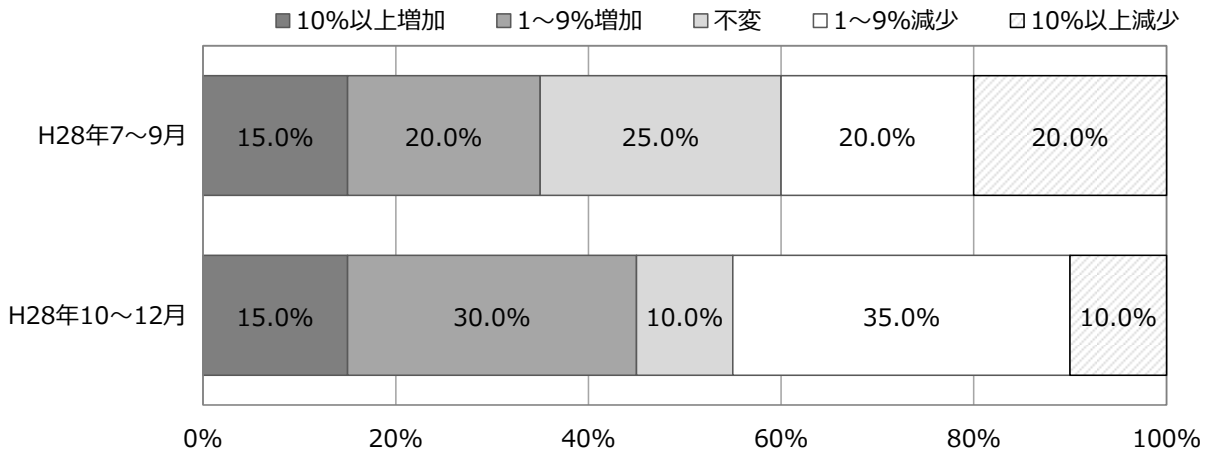
○所属別傾向

- ・売上高について、会津坂下町所属及び湯川村所属事業所が7～9月期は上昇傾向にあるものの10～12月期は上昇傾向が減少していることがわかる。
- ・一方で、あいづ所属事業所は、7～9月期に対して10～12月期は上昇傾向が増加していることが分かる。

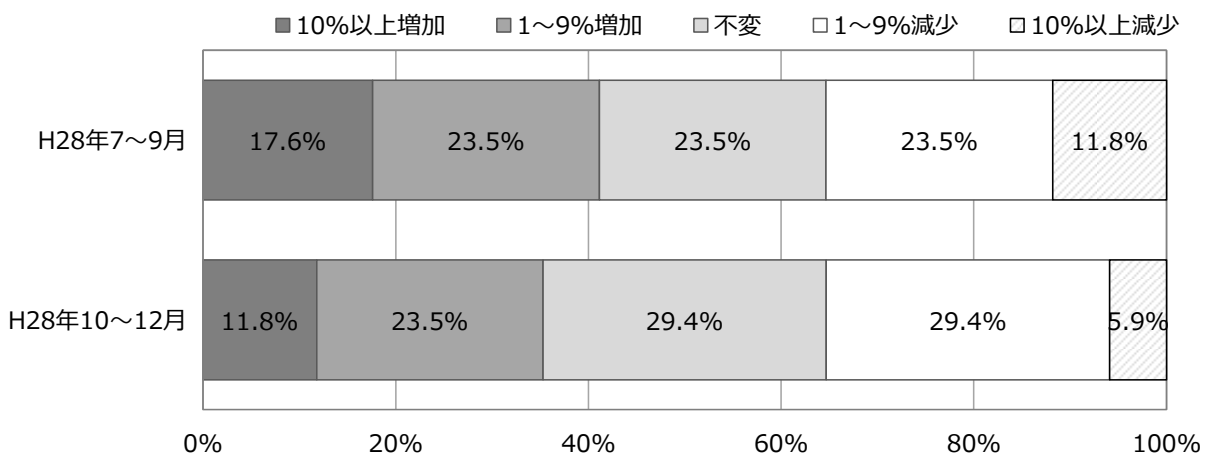
《四半期の売上高》（坂下：n=20）（単回答）



《四半期の売上高》（あいづ：n=20）（単回答）



《四半期の売上高》（湯川：n=17）（単回答）

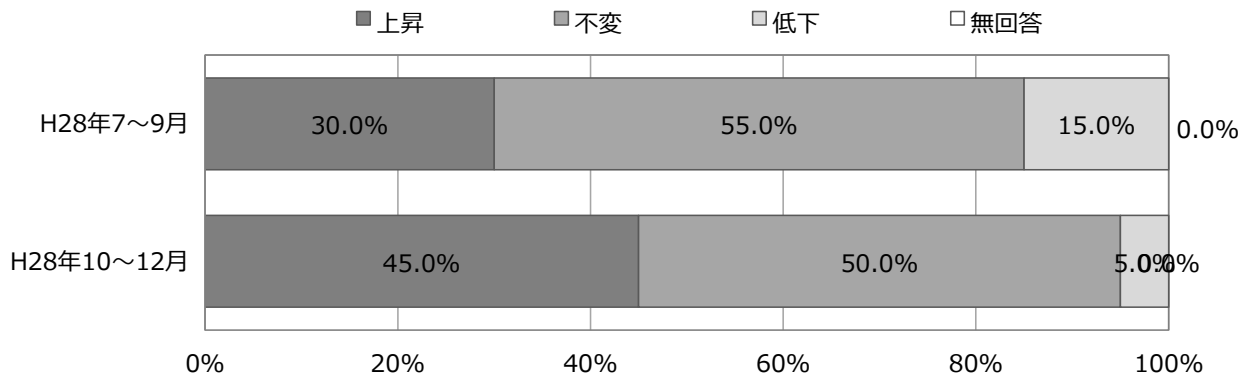


3-1-2. 四半期における売上単価

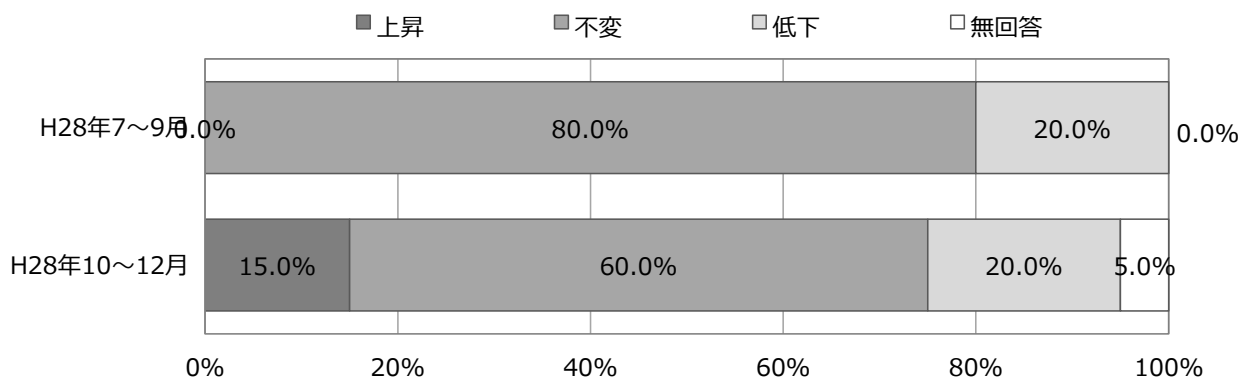
○所属別傾向

- ・売上単価について、会津坂下町所属所属事業所が比較的上昇傾向にあり、7～9月期に対して10～12月期の上昇傾向も増加していることが分かる。
- ・一方で、湯川所属事業所は、7～9月期に対して10～12月期は上昇傾向が減少していることが分かる。

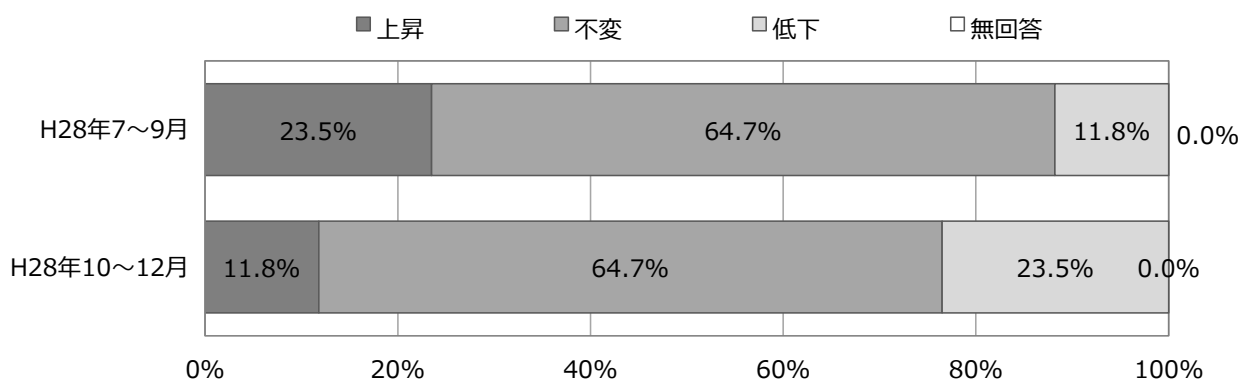
《四半期の売上単価》（坂下：n=20）（単回答）



《四半期の売上単価》（あいづ：n=20）（単回答）



《四半期の売上単価》（湯川：n=17）（単回答）

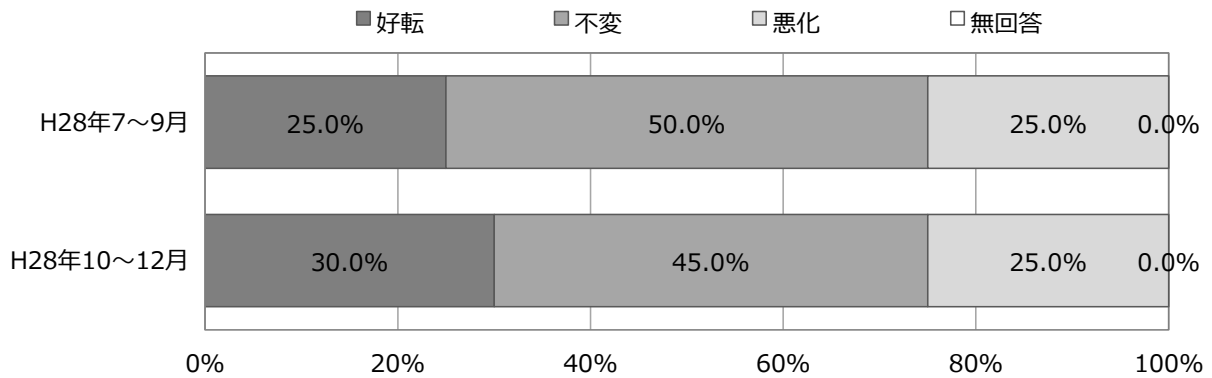


3-1-3. 四半期における収益状況

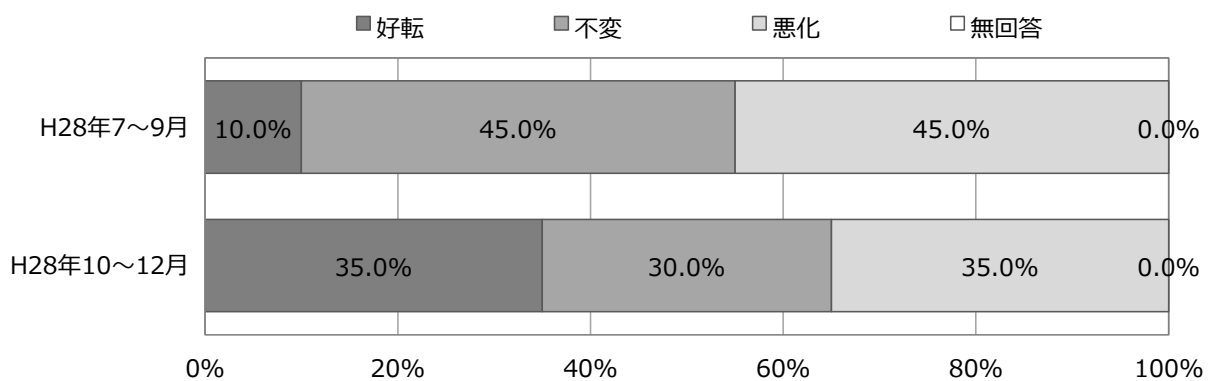
○所属別傾向

- ・収益状況について、会津坂下町所属所属事業所が比較的好転傾向にあり、7～9月期に対して10～12月期の上昇傾向も微増していることが分かる。
- ・あいづ商工会所属事業所は、収益状況が好転傾向に転じる事業所が多いことが分かる。
- ・一方で、湯川所属事業所は、7～9月期と10～12月期の差が無い。

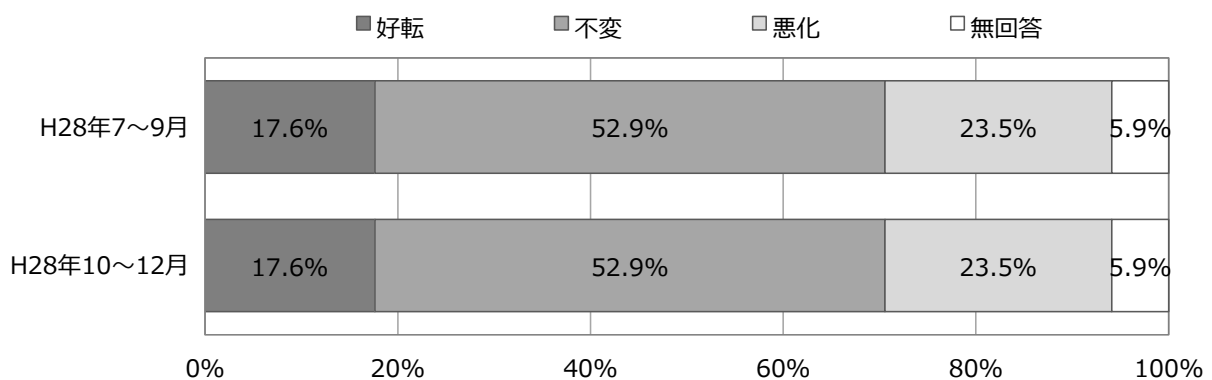
《四半期の収益状況》（坂下：n=20）（単回答）



《四半期の収益状況》（あいづ：n=20）（単回答）



《四半期の収益状況》（湯川：n=17）（単回答）

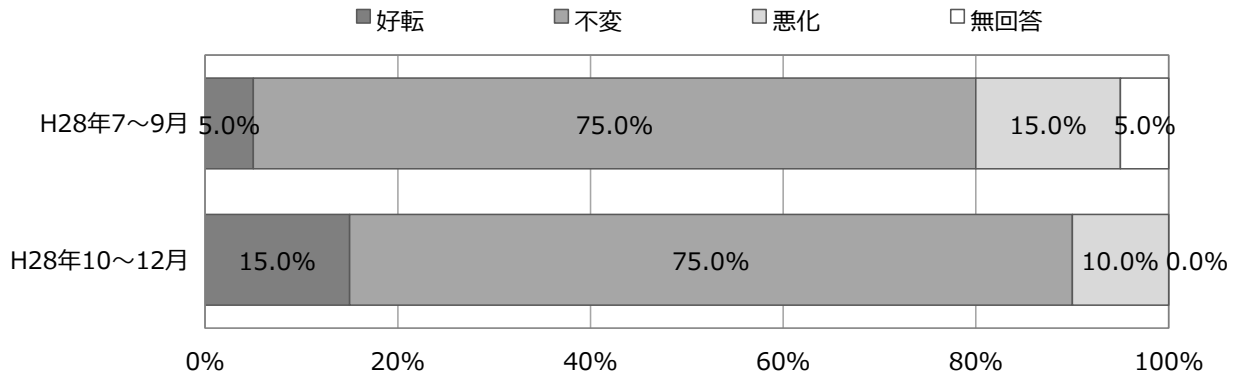


3-1-4. 四半期における資金繰り

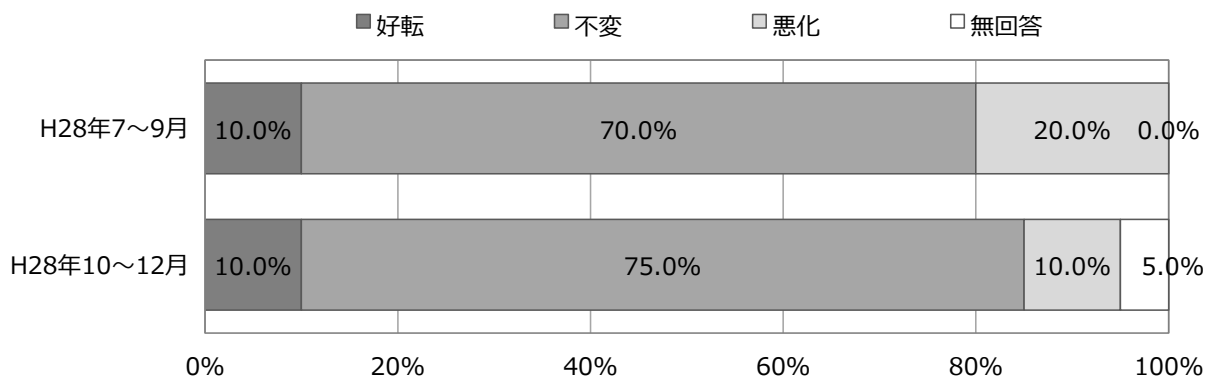
○所属別傾向

- ・資金繰り状況について、全体的に不変とする事業所が多く、7～9月期に対して10～12月期の悪化が進んでいる傾向ではないことが分かる。

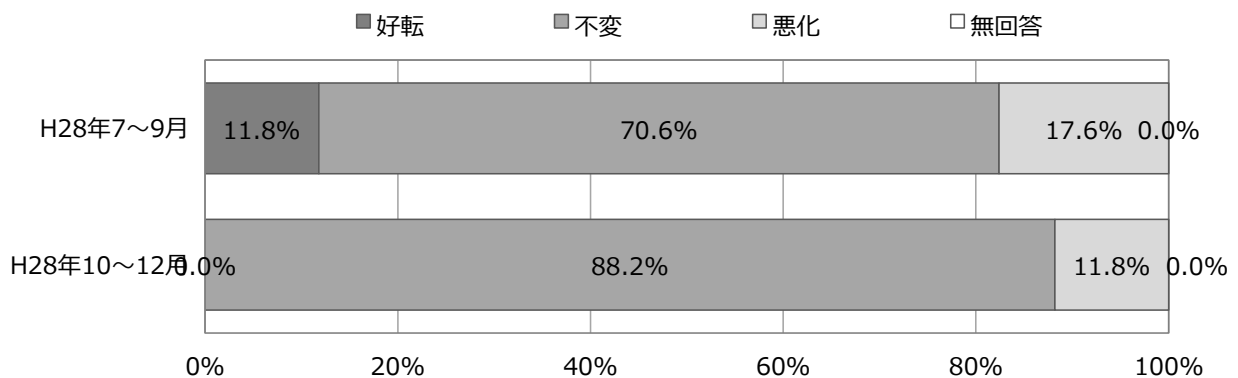
《四半期の資金繰り》（坂下：n=20）（単回答）



《四半期の資金繰り》（あいづ：n=20）（単回答）



《四半期の資金繰り》（湯川：n=17）（単回答）

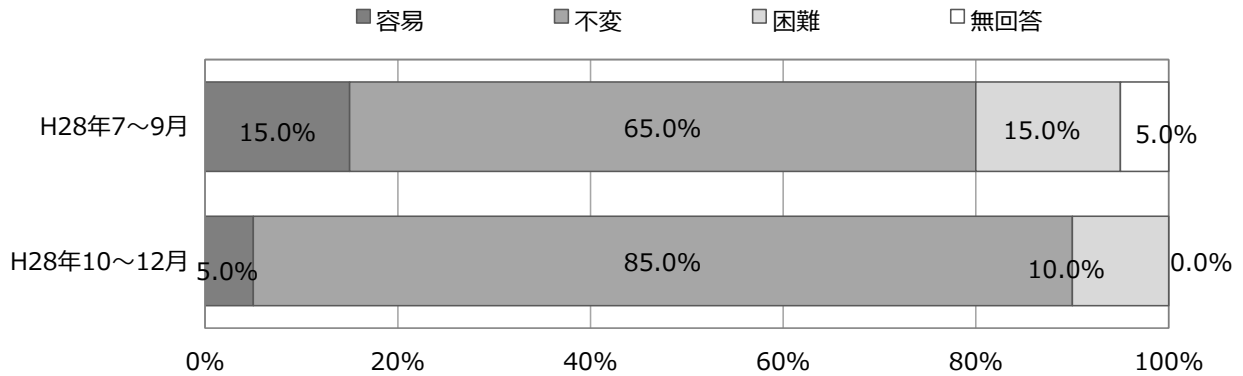


3-1-5. 四半期における借入の難度

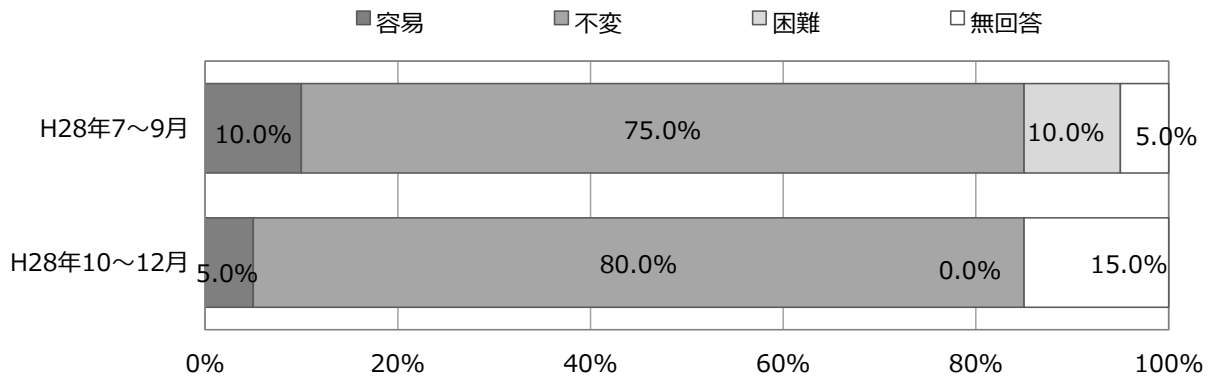
○所属別傾向

- ・借入の難度について、全体的に不変とする事業所が多い。
- ・7～9月期に対して10～12月期に借入れが困難とする事業所は少ないことが分かる。

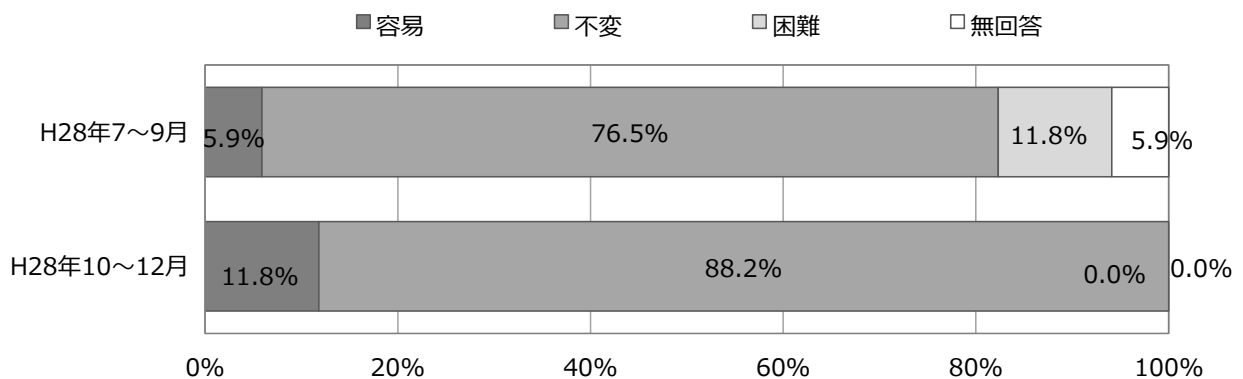
《四半期の借入難度》（坂下：n=20）（単回答）



《四半期の借入難度》（あいづ：n=20）（単回答）



《四半期の借入難度》（湯川：n=17）（単回答）

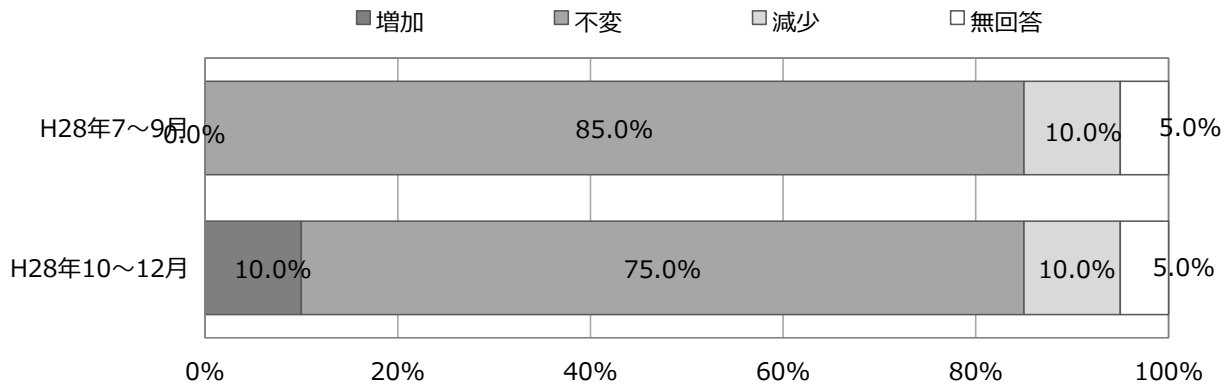


3-1-6. 四半期における雇用人員の状況

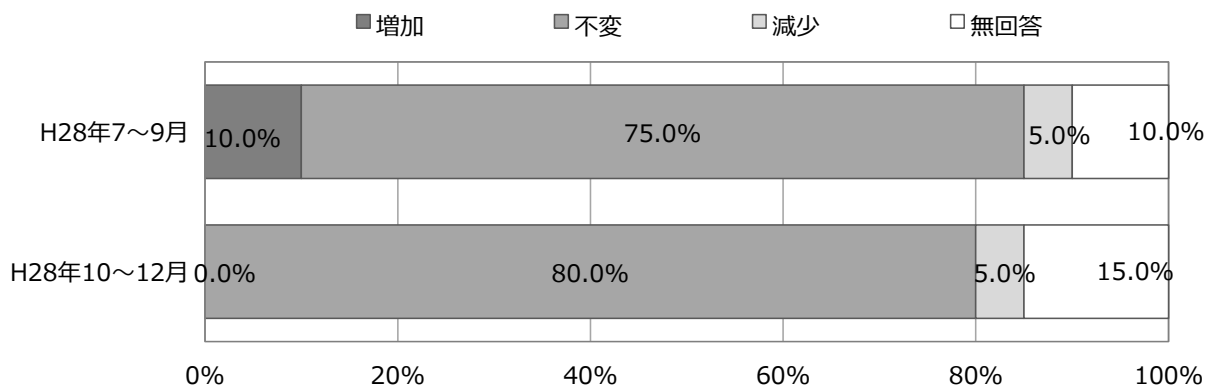
○所属別傾向

- ・雇用人員の増減について、全体的に不変とする事業所が多い。
- ・会津坂下町及びあいづ所属事業所と比較して、湯川村所属事業所における雇用人員の減少率がやや多いことが分かる。

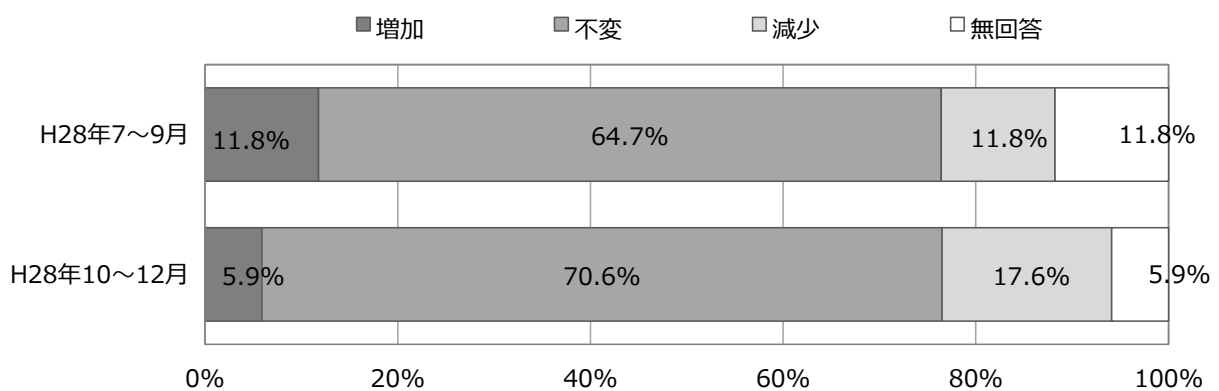
《四半期の雇用人員》（坂下：n=20）（単回答）



《四半期の雇用人員》（あいづ：n=20）（単回答）



《四半期の雇用人員》（湯川：n=17）（単回答）

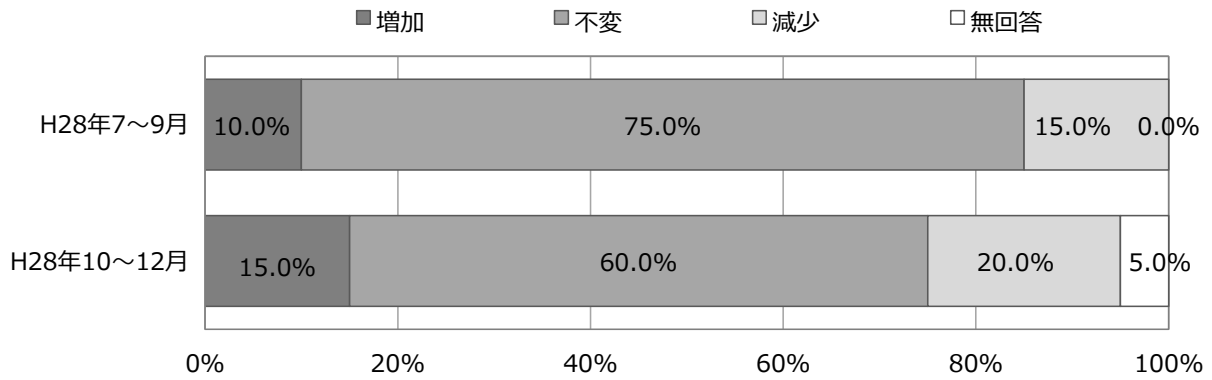


3-1-7. 四半期における業況

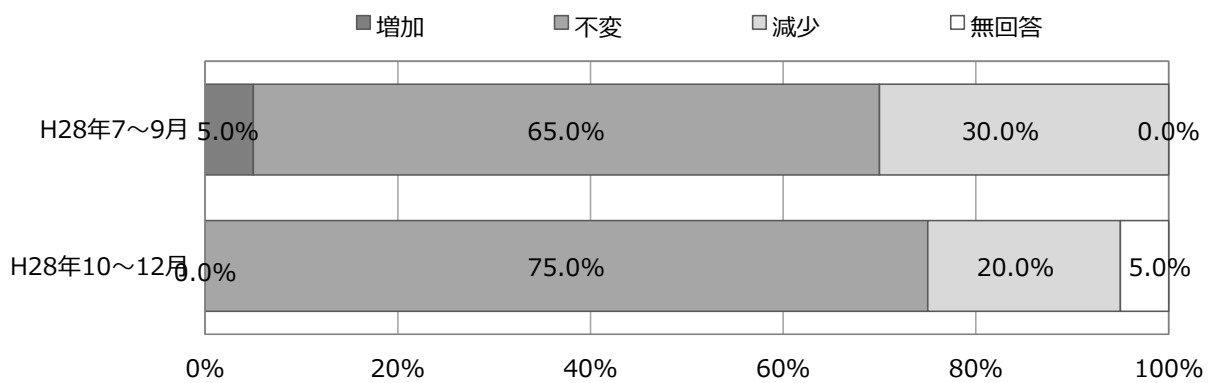
○所属別傾向

- ・四半期の業況について、会津坂下町及び湯川村所属事業所が比較的增加傾向にある一方で、あいづ所属事業所は不変または減少傾向が多いことが分かる。

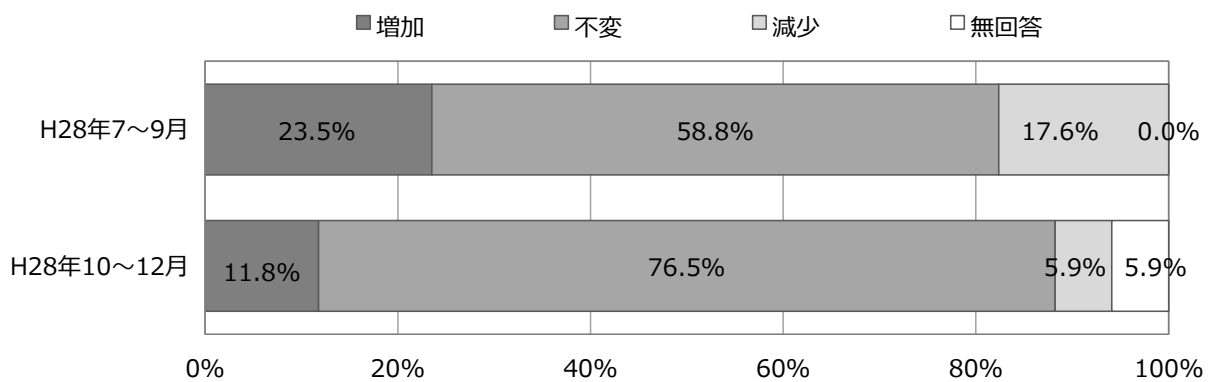
《四半期の業況》（坂下：n=20）（単回答）



《四半期の業況》（あいづ：n=20）（単回答）



《四半期の業況》（湯川：n=17）（単回答）

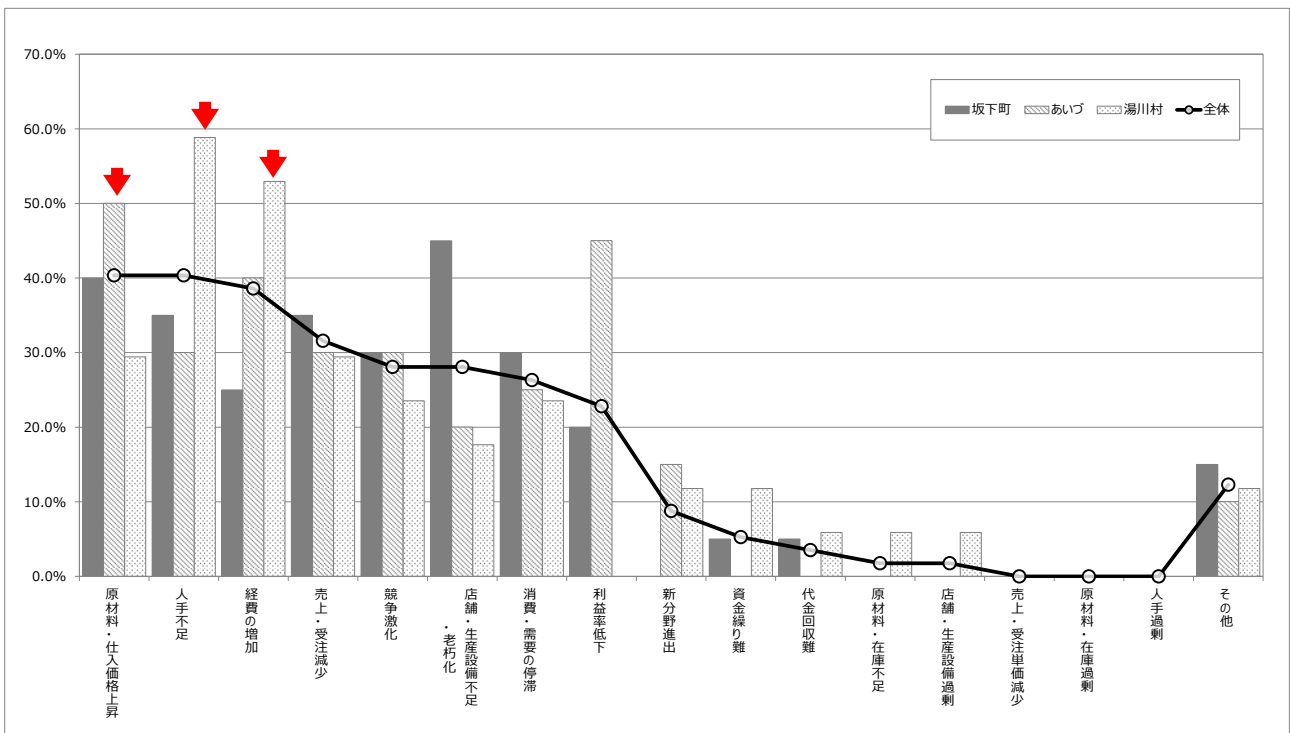


3-2. 四半期における直面している経営上の問題点

○所属別傾向

- ・会津坂下町所属事業所では、7～9 月期における問題点として最も多いのは、「店舗・生産設備不足・老朽化」であり会津坂下所属 20 社の 45.0%を占める。次いで、「原材料・仕入価格上昇」が 40.0%と続いている。10～12 月期において最も多いのは、「消費・需要の停滞」であり 50.0%、次いで「原材料・仕入価格上昇」が 45.0%と続いている。
- ・あいづ所属事業所では、7～9 月期における問題点として最も多いのは、「利益率低下」でありあいづ所属 20 社の 50.0%を占める。次いで、「利益率低下」が 45.0%と続いている。10～12 月期において最も多いのは、「競争激化」であり 45.0%、次いで「消費・需要の停滞」であり 40.0%と続いている。
- ・湯川村所属事業所では、7～9 月期における問題点として最も多いのは、「人手不足」であり湯川村所属 17 社の 58.8%を占める。次いで、「経費の増加」が 52.9%と続いている。10～12 月期において最も多いのは、7～9 月期と同様に「人手不足」であり、70.6%を占め、次いで、「経費の増加」が 47.1%と続いている。
- ・所属する地域により、四半期の経営上の問題点にばらつきが大きいことが分かる。

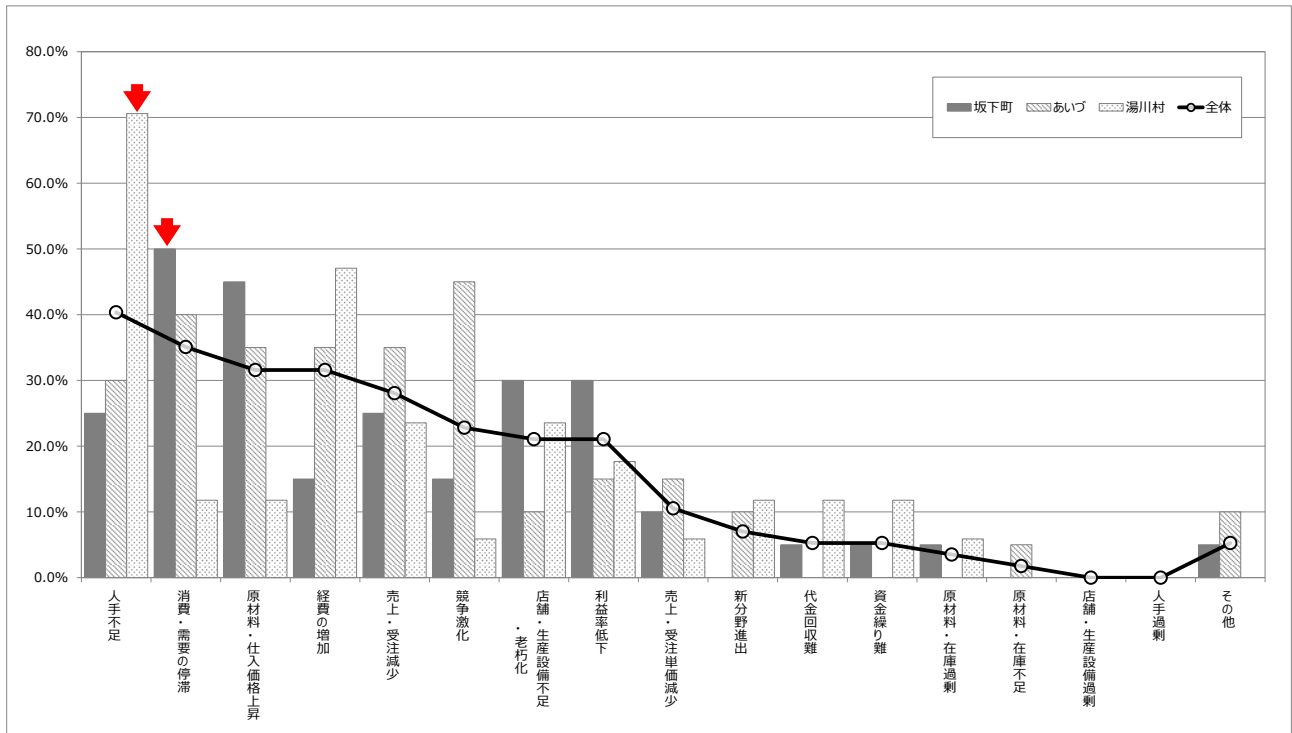
《 四半期（H28.7～9 月期）の経営上問題点 》（所属別：n=57）（上位 3 つまでの合計）



(※▼は、所属別事業所のうち所属地域において 50%以上が経営上の問題と捉えている項目)

3. 調査結果-詳細集計

《四半期（H28.10～12月期）の経営上問題点》（所属別：n=57）（上位3つまでの合計）



(※▼は、所属別事業所のうち所属地域において50%以上が経営上の問題と捉えている項目)

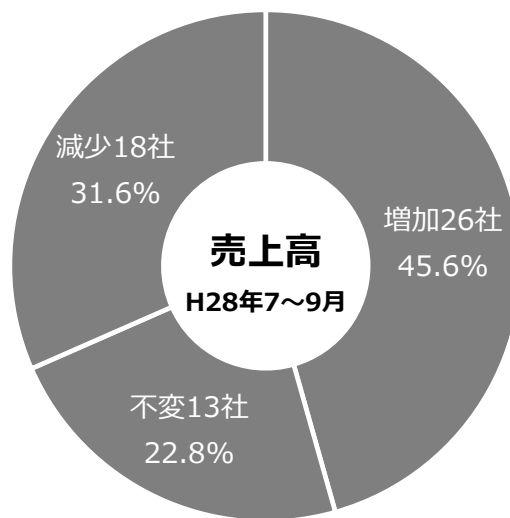
3-3. 売上高別経営状況

3-3-1. 売上高別にみた経営課題

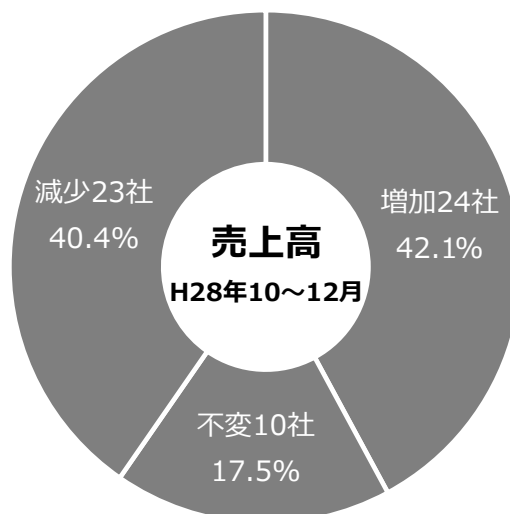
○全体傾向

- ・平成28年7～9月期における売上高について、「10%以上増加」及び「1～9%増加」のいずれかを選択した「売上高増加」としたのは、45.6%。次いで「10%以上減少」及び「1～9%減少」のいずれかを選択した「売上高減少」としたのは、31.6%。「不変」は22.8%。
- ・平成28年10～12月期における売上高について、「10%以上増加」及び「1～9%増加」のいずれかを選択した「売上高増加」としたのは、42.1%。次いで「10%以上減少」及び「1～9%減少」のいずれかを選択した「売上高減少」としたのは、40.4%。「不変」は17.5%。
- ・7～9月期と10～12月期を比較すると、前四半期よりも売上はやや減少傾向であることが分かる。

《平成28年7～9月期売上高》（全体：n=57）（単回答）



《平成28年10～12月期売上高》（全体：n=57）（単回答）

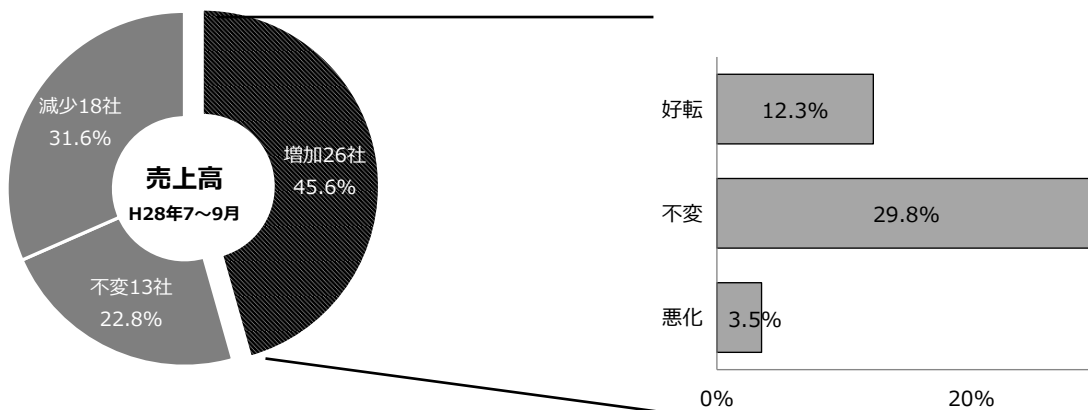


3-3-2. 売上高「増加」傾向の場合における経営課題

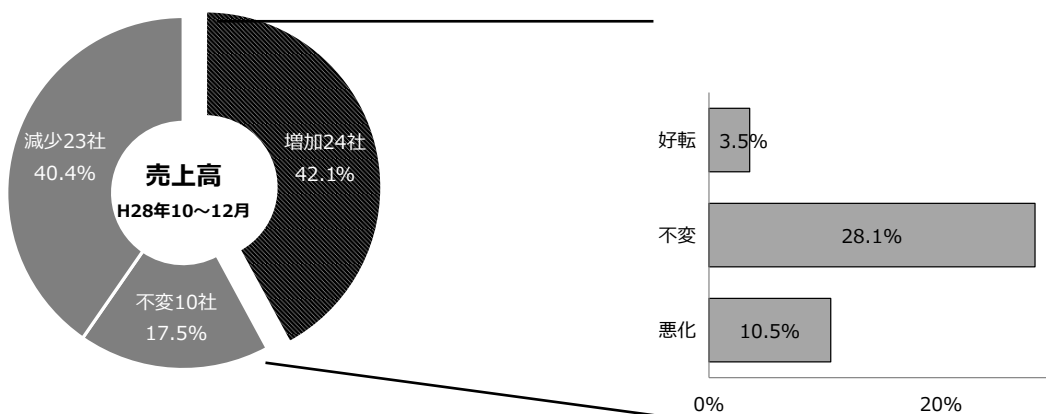
○全体傾向

- ・平成28年7~9月期における売上高について、「増加」したのは45.6%。
- ・平成28年10~12月期における売上高について、「増加」したのは42.1%。
- ・次四半期の見通しは、「不変」傾向にある事業所が多い。
- ・売上高が増加傾向にある事業所の場合、経営上の問題点は、「原材料・仕入価格上昇」、「人手不足」を課題と捉えている割合が高く、ほかに「経費増加」、「店舗・生産設備不足・老朽化」が約1割、または1割以上を占めている。
- ・売上高「増加」傾向にある事業所は、売上高「不変」または「減少」の事業所と比較し、人手不足となっているほか、原材料や仕入れ価格上昇が課題となっている可能性が高い。

《平成28年7~9月期売上高「増加」の次四半期見通し》（全体：n=57）（単回答）

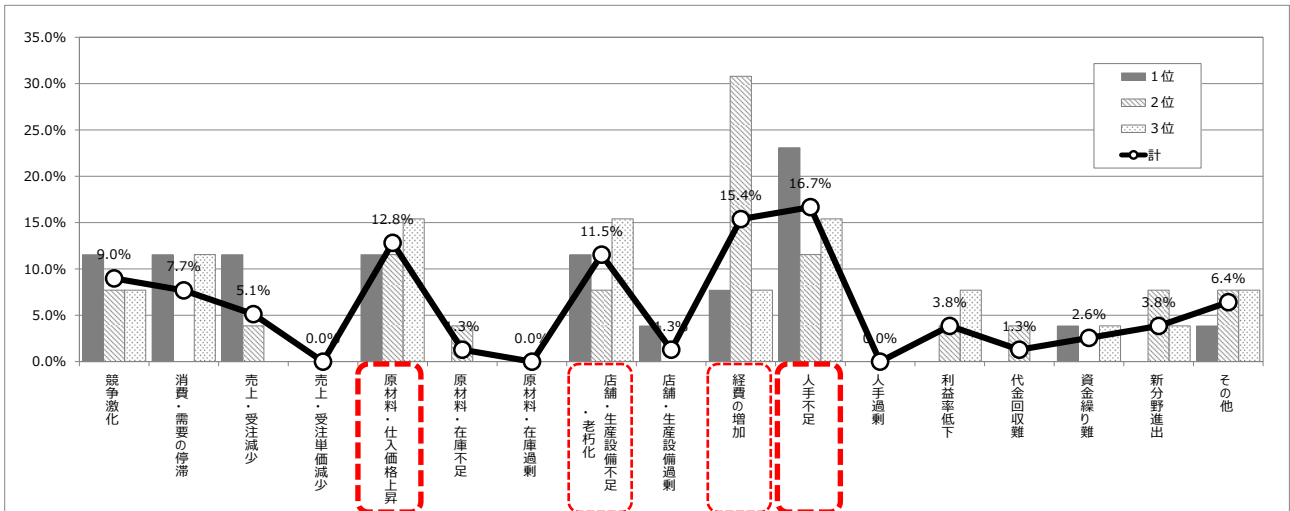


《平成28年10~12月期売上高「増加」の次四半期見通し》（全体：n=57）（単回答）

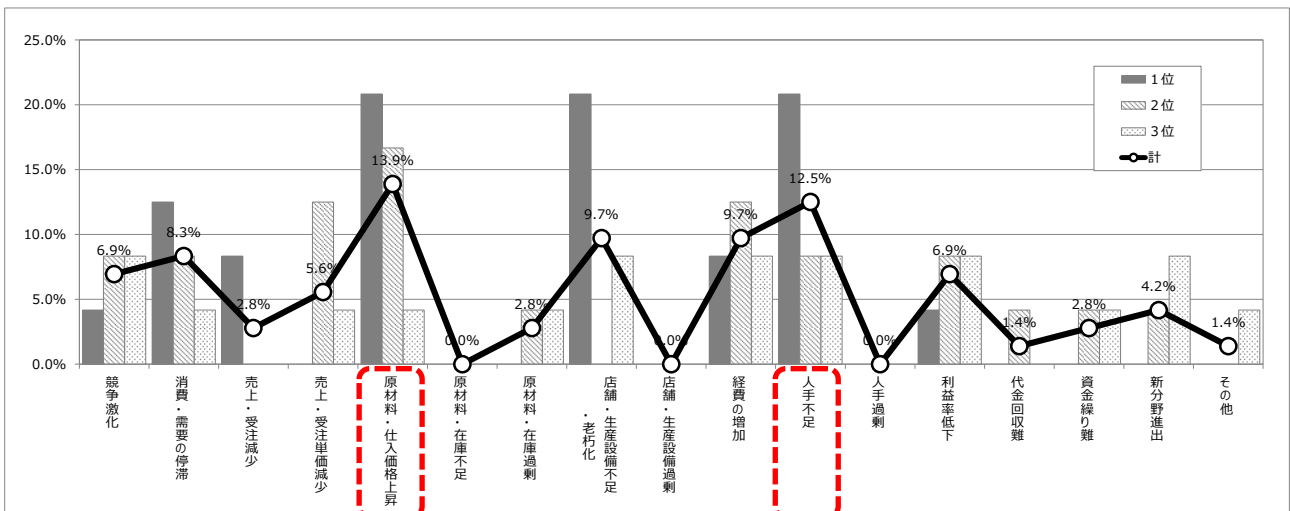


3. 調査結果-詳細集計

《平成 28 年 7～9 月期売上高「増加」の経営上問題点》 (n=26) (上位 3 つ)



《平成 28 年 10～12 月期売上高「増加」の経営上問題点》 (n=24) (上位 3 つ)

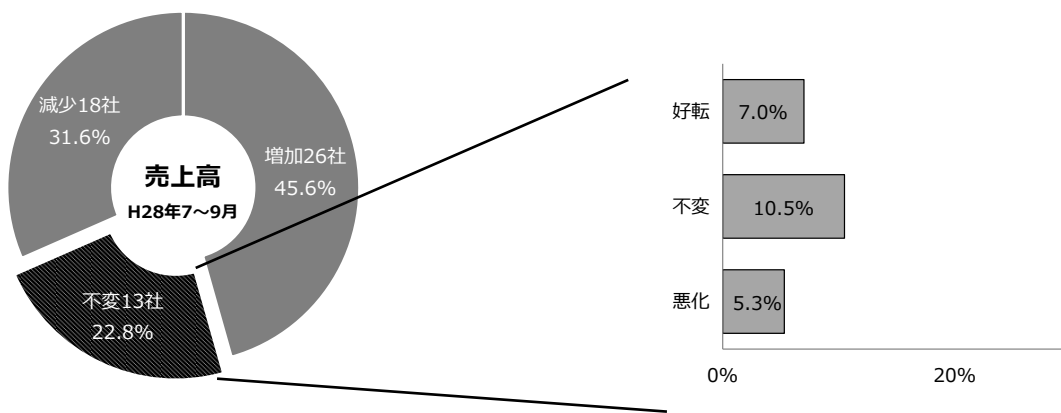


3-3-3. 売上高「不変」傾向の場合における経営課題

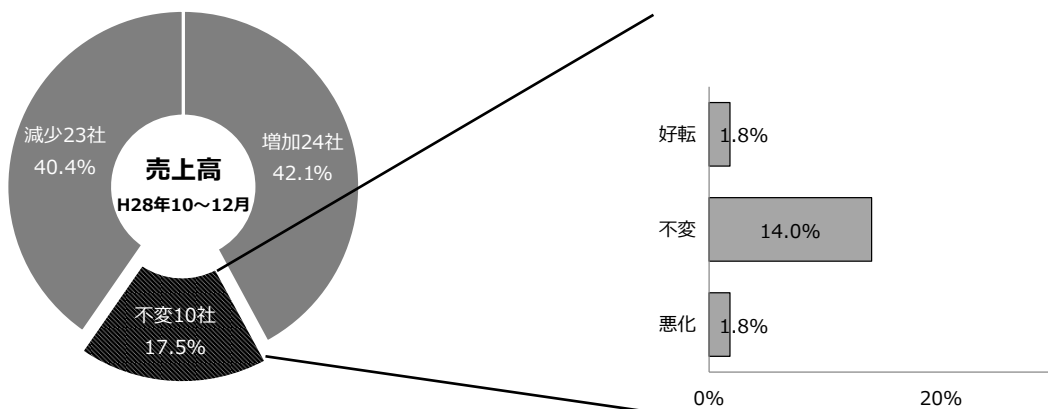
○全体傾向

- ・平成 28 年 7～9 月期における売上高について、「不変」としたのは 22.8%。
- ・平成 28 年 10～12 月期における売上高について、「不変」としたのは 17.5%。
- ・次四半期の見通しは、「不変」傾向にある事業所が多い。
- ・売上高が不変傾向にある事業所の場合、経営上の問題点は、「人手不足」、「経費増加」を課題と捉えている割合が高く、ほかに「店舗・生産設備不足・老朽化」、「原材料・仕入価格上昇」、「利益率低下」が約 1 割、または 1 割以上を占めている。
- ・売上高「不変」傾向にある事業所は、売上高「増加」または「減少」の事業所と比較し、人手不足となっているほか、経費の増加が課題となっている可能性が高い。

《平成 28 年 7～9 月期売上高「不変」の次四半期見通し》（全体：n=57）（単回答）

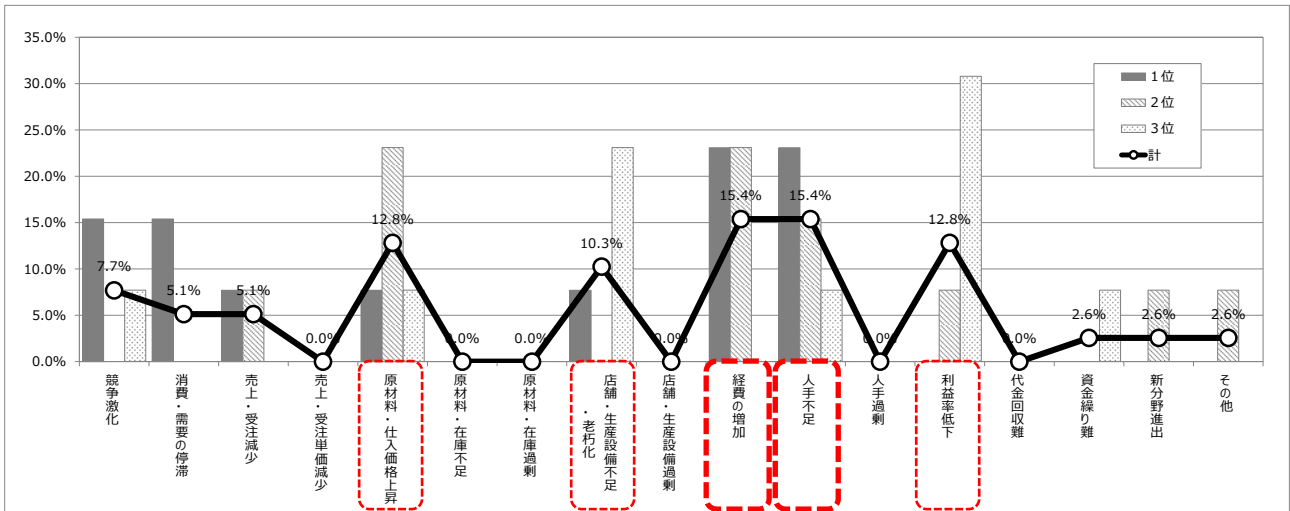


《平成 28 年 10～12 月期売上高「不変」の次四半期見通し》（全体：n=57）（単回答）

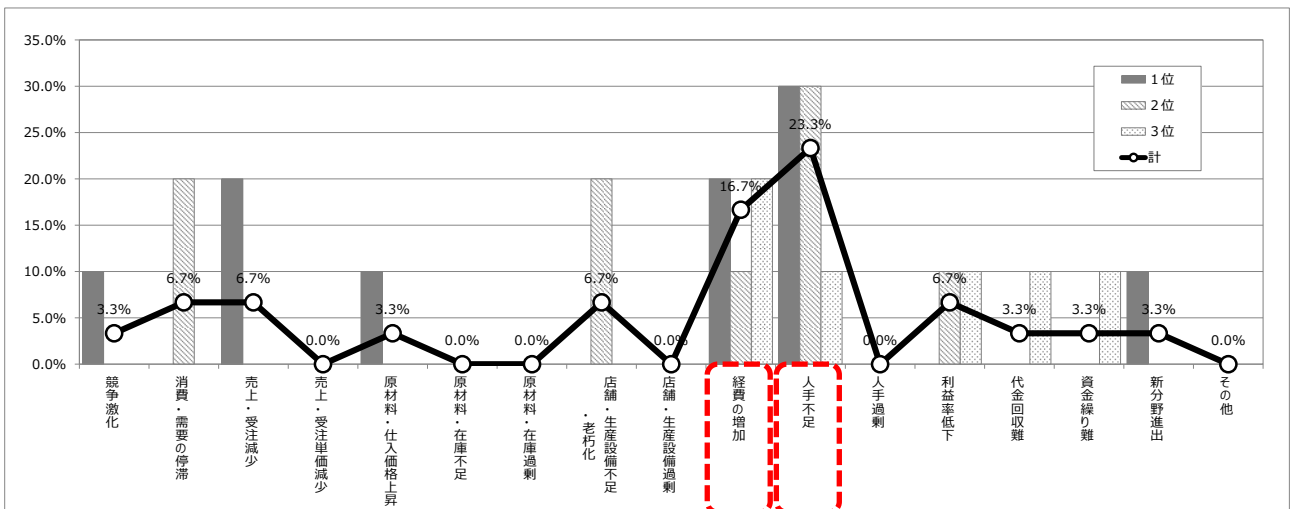


3. 調査結果-詳細集計

《平成 28 年 7～9 月期売上高「不変」の経営上問題点》 (n=13) (上位 3 つ)



《平成 28 年 10～12 月期売上高「不変」の経営上問題点》 (n=10) (上位 3 つ)

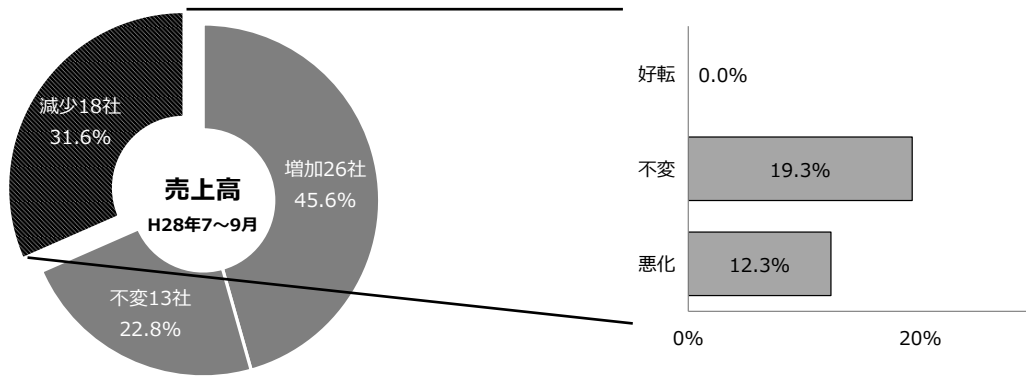


3-3-4. 売上高「減少」傾向の場合における経営課題

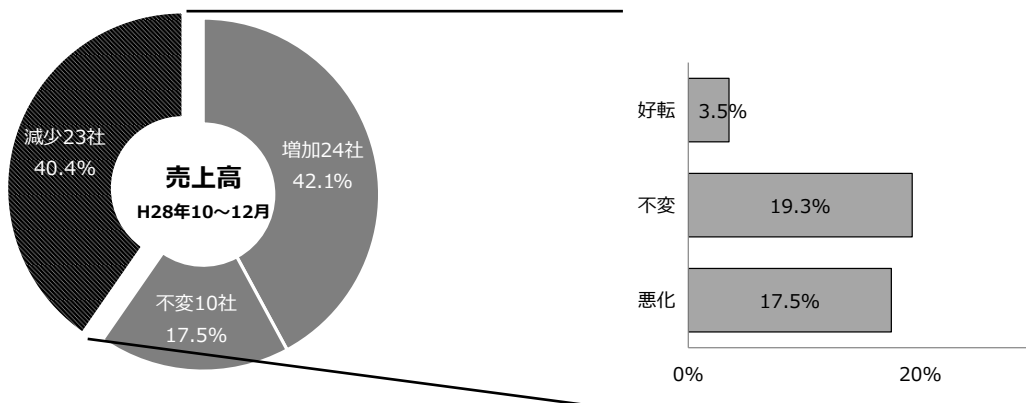
○全体傾向

- ・平成28年7～9月期における売上高について、「減少」としたのは31.6%。
- ・平成28年10～12月期における売上高について、「不変」としたのは40.4%。
- ・7～9月期よりも、10～12月期のほうが、売上高減少とする事業所が増加している。
- ・次四半期の見通しは、「不変」傾向にある事業所が多い。
- ・売上高が不変傾向にある事業所の場合、経営上の問題点は、「売上・受注減少」、「消費・需要の停滞」、「競争激化」を課題と捉えている割合が高く、ほかに「原材料・仕入価格上昇」、「人手不足」が約1割、または1割以上を占めている。
- ・売上高「減少」傾向にある事業所は、売上高「増加」または「不変」の事業所と比較し、競争激化等による優位性に欠け受注減少となっているほか、消費需要の停滞等が課題となっている可能性が高い。

《平成28年7～9月期売上高「減少」の次四半期見通し》（全体：n=57）（単回答）

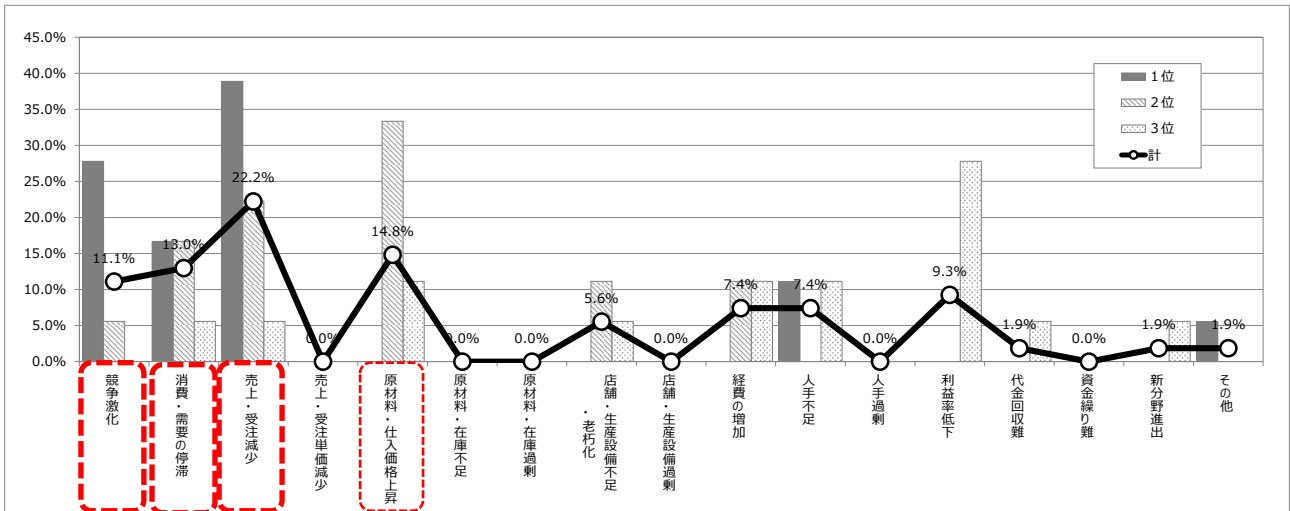


《平成28年10～12月期売上高「減少」の次四半期見通し》（全体：n=57）（単回答）

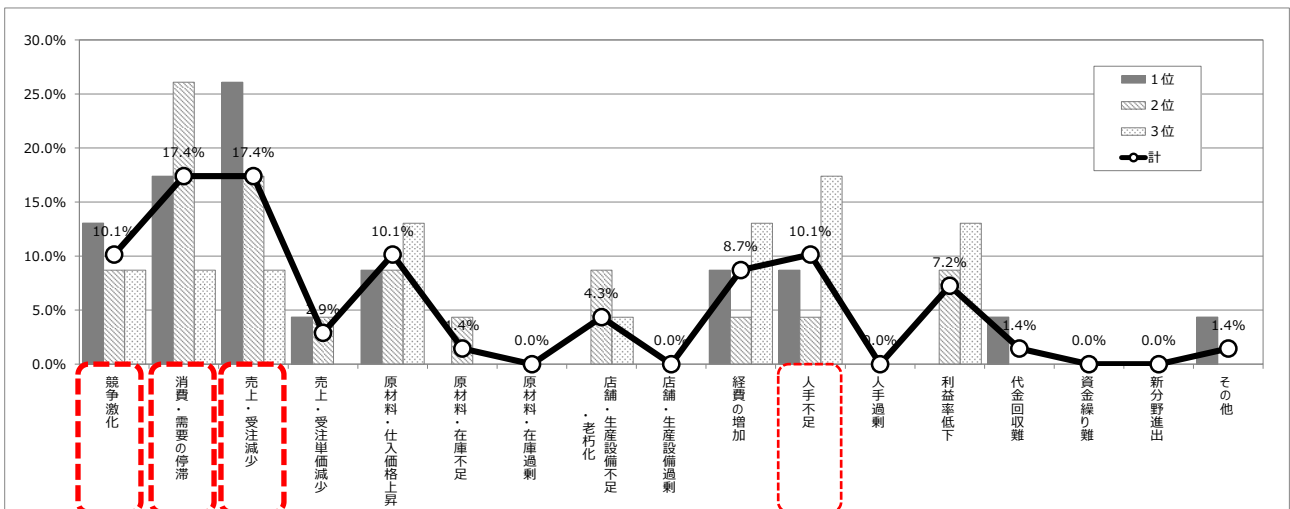


3. 調査結果-詳細集計

《平成 28 年 7～9 月期売上高「減少」の経営上問題点》 (n=18) (上位 3 つ)

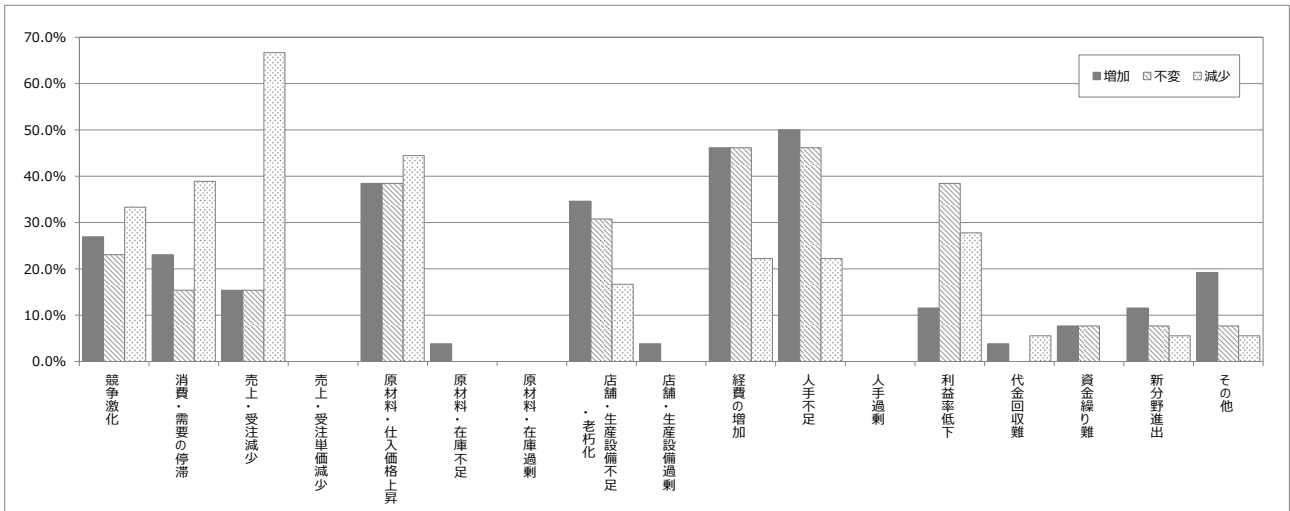


《平成 28 年 10～12 月期売上高「減少」の経営上問題点》 (全体：n=23) (上位 3 つ)

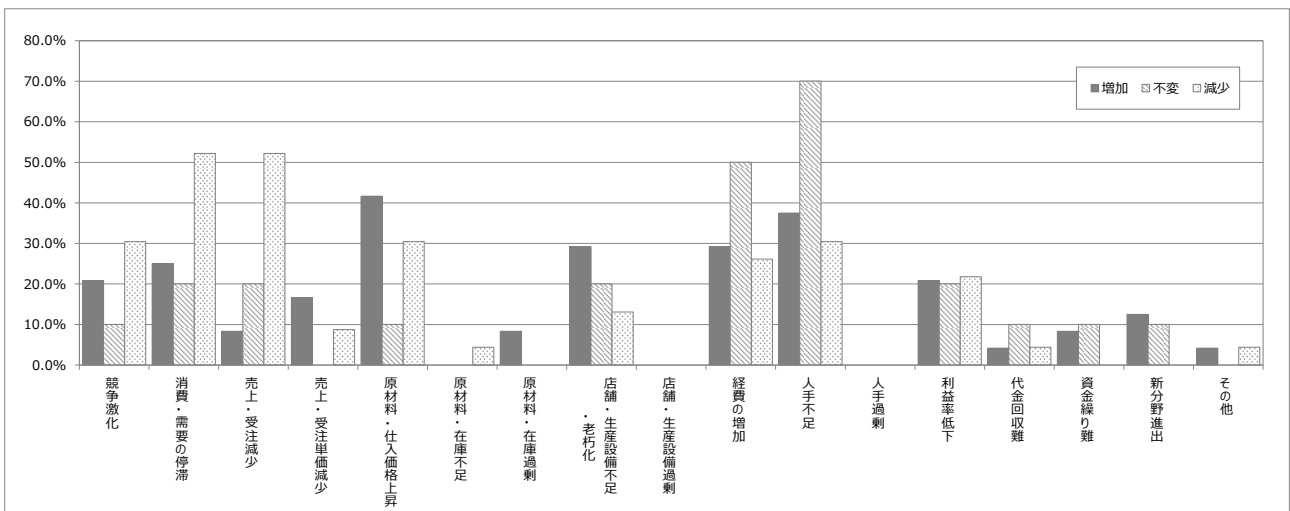


3. 調査結果-詳細集計

《平成 28 年 7～9 月期売上高別にみた経営上問題点》 (n=57) (上位 3 つの合計)



《平成 28 年 10～12 月期売上高「減少」の経営上問題点》 (全体：n=57) (上位 3 つの合計)



卷末資料－調査票－

【調査票】

資料2

会津中央商工会（3地域） 企業景況調査票（平成28年7月～9月期）

調査元：会津中央商工会広域連携協議会

回答企業名 _____

（会津坂下町・あいづ・湯川村）

製造業 建設業 小売業 サービス業

【質問1】前四半期（平成28年4月～6月）と比較した今四半期（平成28年7月～9月）の状況について最も近いものに○印をお付けください。

- | | | | |
|----------|---------|--------------|------------|
| 1) 売上高 | (前四半期比) | 1. 10%以上増加 | 2. 1%～9%増加 |
| | | 3. 不変 | 4. 1%～9%減少 |
| | | 5. 10%以上減少 | |
| 2) 売上単価 | (前四半期比) | 1. 上昇 | 2. 不変 |
| | | 3. 低下 | |
| 3) 収益状況 | (前四半期比) | 1. 好転 | 2. 不変 |
| | | 3. 悪化 | |
| 4) 資金繰り | (前四半期比) | 1. 好転 | 2. 不変 |
| | | 3. 悪化 | |
| 5) 借入難度 | (前四半期比) | 1. 容易 | 2. 不変 |
| | | 3. 困難 | |
| 6) 雇用人員 | 現在の従業員数 | 人（うち正規雇用者 人） | |
| | (前四半期比) | 1. 増加 | 2. 不変 |
| | | 3. 減少 | |
| 7) 貴社の業況 | (前四半期比) | 1. 増加 | 2. 不変 |
| | | 3. 減少 | |

【質問2】今四半期（平成28年7月～9月）、直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に番号を回答欄へご記入ください。（1位～3位まで）

- | | |
|------------------|-------------|
| 01 競争激化 | 10 経費の増加 |
| 02 消費・需要の停滞 | 11 人手不足 |
| 03 売上・受注減少 | 12 人手過剰 |
| 04 売上・受注単価低下 | 13 利益率低下 |
| 05 原材料・仕入価格上昇 | 14 代金回収難 |
| 06 原材料・在庫不足 | 15 資金繰り難 |
| 07 原材料・在庫過剰 | 16 新分野進出 |
| 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他：具体的に |
| 09 店舗・生産設備過剰 | () |

回答欄

1位 _____

2位 _____

3位 _____

【質問3】今四半期（平成28年7月～9月）設備投資を行いましたか。

1. 行なった 2. 行っていない

行った設備投資 _____ 設備投資額 _____ 万円

- 行った場合の資金繰り 1. 自己資金 2. 借入金で対応

【質問4】次の四半期（平成28年10月～12月）見通し（予想）はどうですか。

1. 好転する 2. 不変 3. 悪化する

【質問5】現在の景況感、企業経営上の問題点等について。

記入しきれない場合は裏面に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

※本書の利用にあたって

- 本文及び図表中の回答者の比率は、百分比（％）で表し、小数点以下第2位を四捨五入してある。そのため個々の比率の合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の質問では比率の合計が100%を超える。
- 図表中の「n」は回答者数（該当者だけが回答する質問の場合は該当者数）のことで、100%が何人に相当するかを示す比率算出の基数である。
- 本文や図表中の選択肢表記の一部には、語句を短縮・簡略化しているものもある。